
横須賀市教育アンケート報告書

(社会教育編)

平成22年(2010年)7月

横須賀市教育委員会



【目 次】

I	調査目的及び実施方法等	1
II	調査結果	2
1	基本的属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	職業等	2
(4)	居住地区	2
2	余暇活動	3
(1)	余暇生活における満足度	3
(2)	余暇活動の状況	3
3	生涯学習について	4
(1)	生涯学習の経験	4
(2)	学習活動の内容	6
(3)	学習活動を行う理由	7
(4)	学習活動の場及び方法	8
(5)	学習情報の入手先	9
(6)	学習成果の還元	10
4	生涯学習施設	11
(1)	生涯学習施設の認知度及び利用度	11
(2)	生涯学習施設の実施事業の認知度及び参加度	12
5	社会的な課題	13
(1)	社会的課題に対する市民の学習ニーズ	13
6	社会教育行政の優先度	14
(1)	行政が充実すべき事業	14
7	自由意見から	15
III	集計結果	16

I 調査目的及び実施方法等

1 調査目的

本調査は、市民が生涯学習や社会教育に対して何を望んでいるのか、また、どのような考えを持っているのかを把握し、生涯学習の推進を図り、横須賀市教育振興基本計画の策定や今後の教育行政施策の参考とするために実施しました。

2 調査対象及び回収数

(1) 調査の対象

市民：住民基本台帳から抽出し、郵送にて配布・回収しました。

(2) 調査期間

平成 22 年（2010 年）年 3 月

(3) アンケート調査票の配布数と回収結果

対 象	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	有効回答 者数 (人)	有効 回答率 (%)
	A	B	B/A	C	C/A
市 民	2,000	711	35.6	711	35.6

3 集計結果の表記方法

①「回答数」は回答資格者総数から未回答、無効を除いた数値です。

②「回答率」は、小数点以下第 2 位を四捨五入したため、グラフ及び表の数値の合計において 100%にならない場合があります。

Ⅱ 調査結果

1 基本的属性

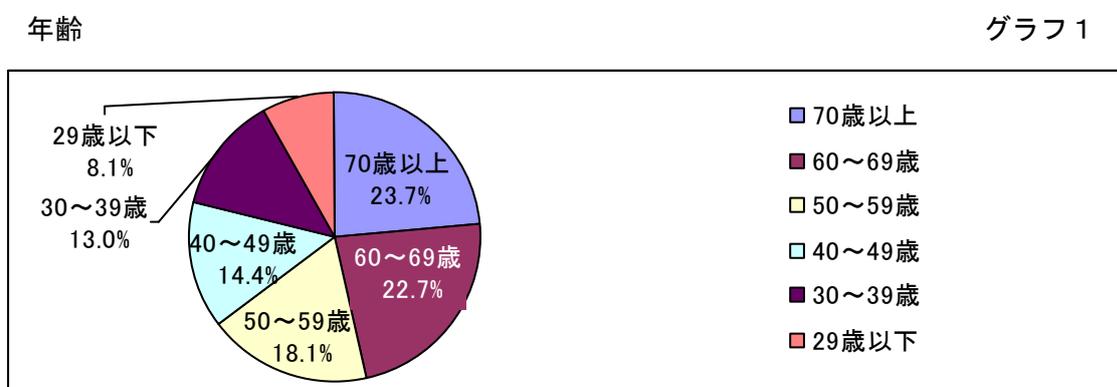
(1) 性別

問1 あなたの性別を〔 〕内にお書きください。

性別は、男性 42.8%、女性 57.2%の回答です。

(2) 年齢

問2 あなたの現在の年齢は、次のどれに該当しますか。



年代は、年代が高いほど回答率が高く、60歳以上の方は46.4%となっています。年齢層の高い方の意見が中心のアンケート結果となりました。若い世代の社会教育行政、生涯学習に対する関心の低さがうかがえます。若い世代に自己の向上につながる学習活動の啓発が必要といえます。

(3) 職業等

問3 あなたの主たる職業などを教えてください。

職業別では、60歳以上の割合が高いため無職が25.7%と高く、次いで会社員・公務員・団体職員等が25.4%、専業主婦・主夫等が24.7%でこれらの合計が75.8%と約3/4を占めます。次いでパート・アルバイト・派遣社員等の非正規雇用が13.5%でこの4つで約9割となります。

(4) 居住地区

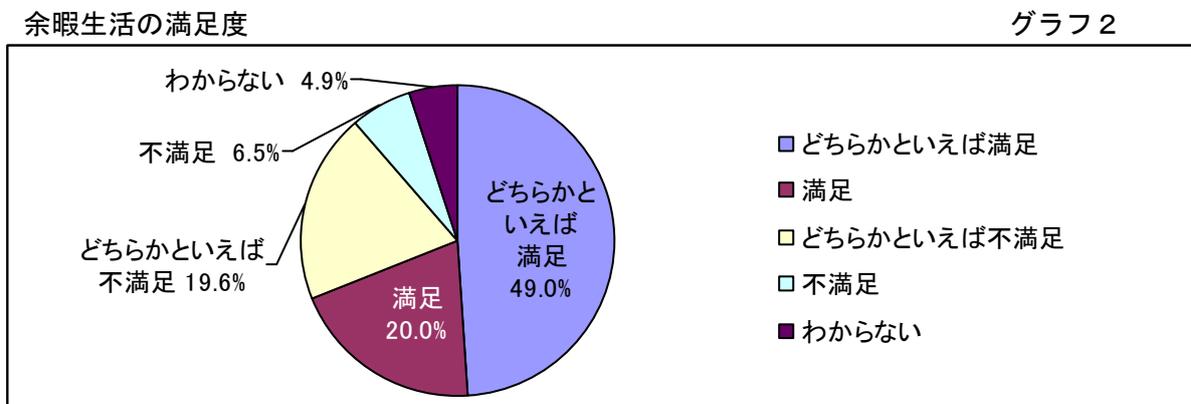
問4 あなたは市内のどちらの地域にお住まいですか。(本庁管内・行政センター管内から選択)

居住地別では、人口比にあわせて抽出したため、回答も概ね居住地区の人口比に比例しています。本庁14.4%、追浜8.3%、田浦4.0%、逸見2.6%、衣笠15.7%、大津10.3%、浦賀12.3%、久里浜13.4%、北下浦9.1%、西9.5%です。

2 余暇活動

(1) 余暇生活における満足度

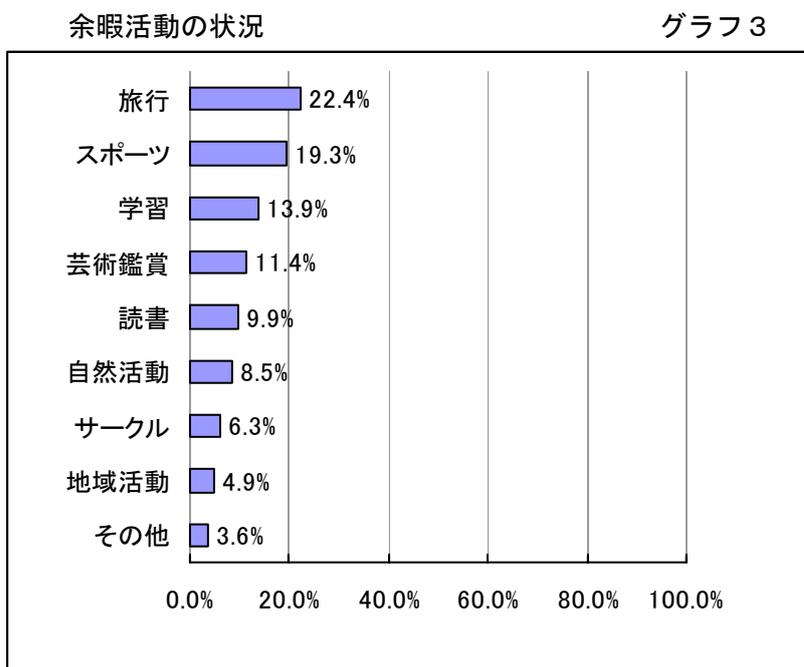
問5 あなたは、現在のご自分の生活で、余暇の過ごし方については、どのくらい満足していますか。(1つ選択)



現在の余暇生活に満足しているかという設問に対しては、どちらかといえば満足という回答がほぼ半数の49.0%で、満足の20.0%を加えると約7割となり、自分の余暇生活に関しては満足感を感じている市民が多いようです。不満足は6.5%、どちらかといえば不満足の19.6%でした。わからないと回答したものを加えた約3割の市民が満足感を感じていないため、この原因を取り除いていくことは社会教育の役割の一つでもあるといえます。

(2) 余暇活動の状況

問6 あなたは、ご自分の人生や生活をより豊かに、より充実させ、より満足させるために、どのようなことをしていますか？あるいは、これからどのようなことをしたいと思いますか？(主なもの3つ選択)



人生や生活をより豊かにするためにどのような活動をしているか、若しくはしたいと思うかという設問に対し、旅行が22.4%、スポーツ・運動など体を動かすが19.3%、何かを学習するは13.9%、芸術鑑賞をするが11.4%、読書が9.9%でした。サークル活動など仲間と何かをするは6.3%であり、集団での活動よりも個人での活動に重きが置かれているようです。

スポーツや読書、芸術鑑賞なども生涯学習と捉えることができますが、学習活動をするという回答は13.9%と低いため、学習活動そのものを行うための啓発活動は必要といえます。

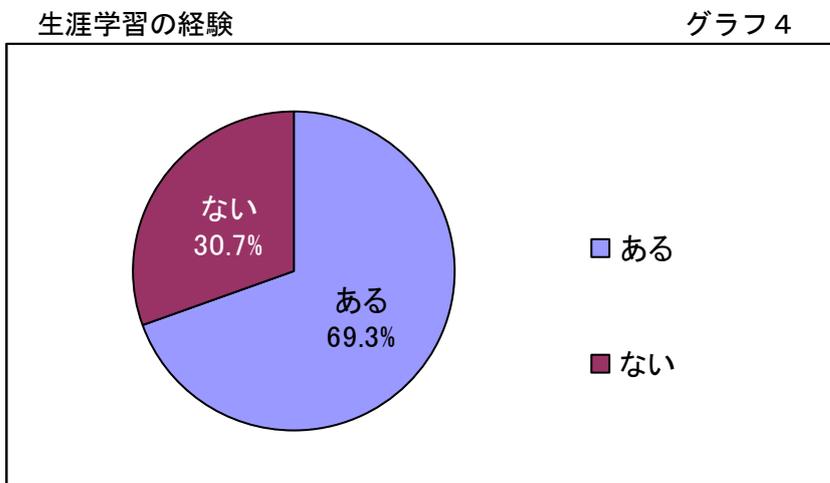
また、地域活動・ボランティア活動という回答は4.9%と低く、主体的なまちづくりを進めようとする市民はごく一部に留まっていると考えられます。主体的に自らがまちづくりを進めるための啓発活動や学習機会の提供が必要といえます。

なお、その他と回答した意見には、家族と過ごすという回答が見られました。今後は、家族単位で参加できる事業のあり方を検討することも必要と考えられます。また、求職、介護、育児などの理由で参加できないなど、昨今の経済・社会状況を反映した回答も見られました。

3 生涯学習について

(1) 生涯学習の経験

問7 あなたは、「生涯学習」として、何かを学習したことがありますか。
(学習の内容は、教養・趣味・健康維持・資格取得・仕事関連・社会問題など、学習の方法も、講座や講演会参加・個人レッスン・教室通い・通信教育・独学など、何でも可)



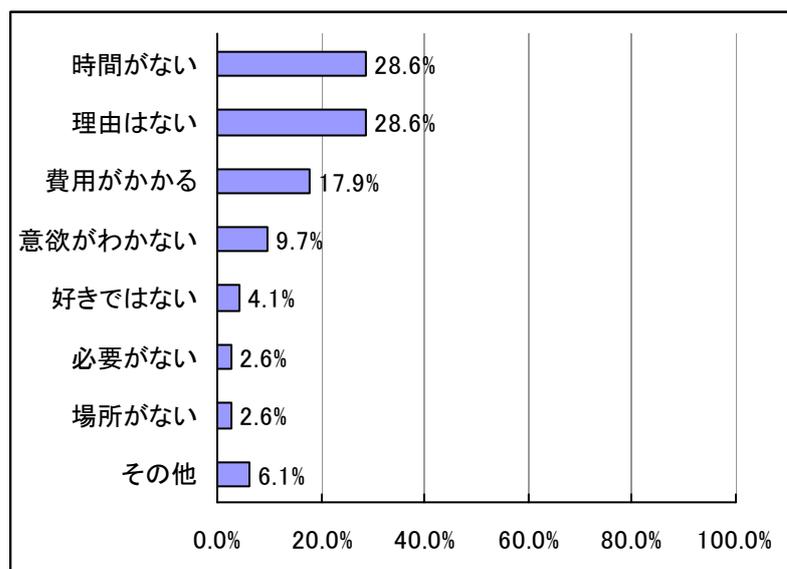
生涯学習の経験については、69.3%があると回答しています。概念上は、学校教育における学習も生涯学習に含まれますが、ここでは、自分から主体的に学習した経験について尋ねています。

どのような内容の学習であっても主体的に学習を開始した場合には、生涯学習とみなされるため、7割の経験者がいることで、本市の生涯学習推進は十分だとはいえません。さらに生涯学習社会を築いていくためには、生涯学習を推進していくべきと考えます。

問7で「ない」を選ばれた方におたずねします。学習をしなかったのはなぜですか。(1つ選択)

生涯学習をしない理由

グラフ5



生涯学習の経験がない場合、なぜ学習しなかったのかを尋ねました。学習する時間がないという回答が28.6%で、その他として回答した中にも介護や出産、育児で時間がないという回答が見られ、学習のためのゆとりがないという理由が最も多いものでした。

特に理由がないという回答も28.6%あり、その他に回答した中にも踏み出すことができない、行動に移せない、きっかけが作れないという回答があることから、学習を始めるきっかけを必要としている場合が多いことも推測されます。

次に多いのは費用がかかる17.9%であり、昨今の経済状況から、学習のために経費をかけられないこともうかがえます。生涯学習には費用がかからないものも多いため、必要な情報をいかに提供するか、情報提供のあり方を考える必要があります。

なお、生涯学習とは行政が提供する事業を受けることと考えている意見も見受けられました。生涯学習とは何かという周知、及び生涯学習の啓発を行う必要性もあります。

(2) 学習活動の内容

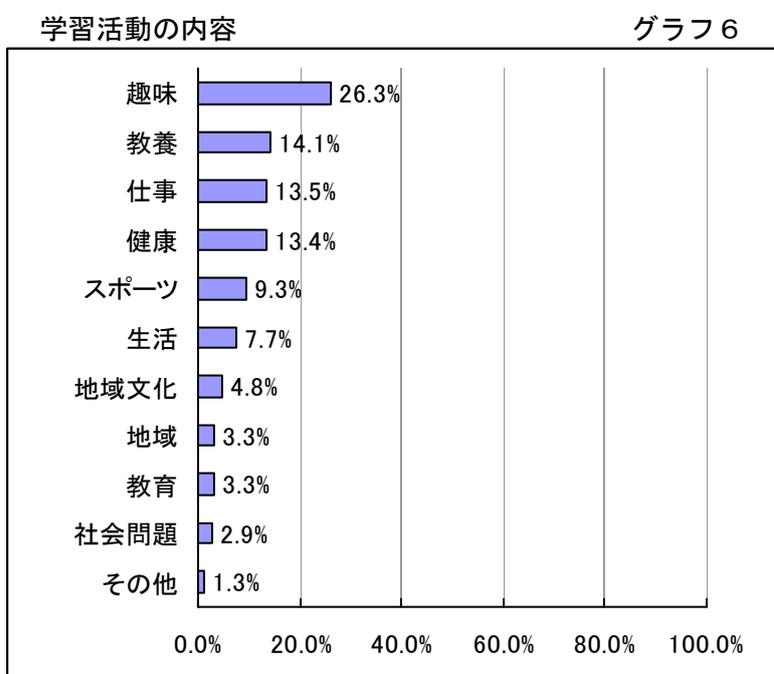
問8 問7 で「ある」と答えた方におたずねします。その学習内容はどのようなことですか。(3つまで選択)

生涯学習の経験がある場合、その学習内容については、趣味に関すること 26.3%、教養を高めること 14.1%、仕事に必要な知識や技術などが 13.5%、健康維持・健康増進に関することが 13.4%、スポーツ・運動が 9.3%で、これらで 76.6%と大半を占めました。学習内容は個人的な活動と受け止められていることがわかります。

これに反し、地域の歴史や文化に関すること 4.8%、社会的な問題 2.9%、地域活動・地域振興・まちづくりなどが 3.3%と地域や社会に関する学習は極めて低いものでした。

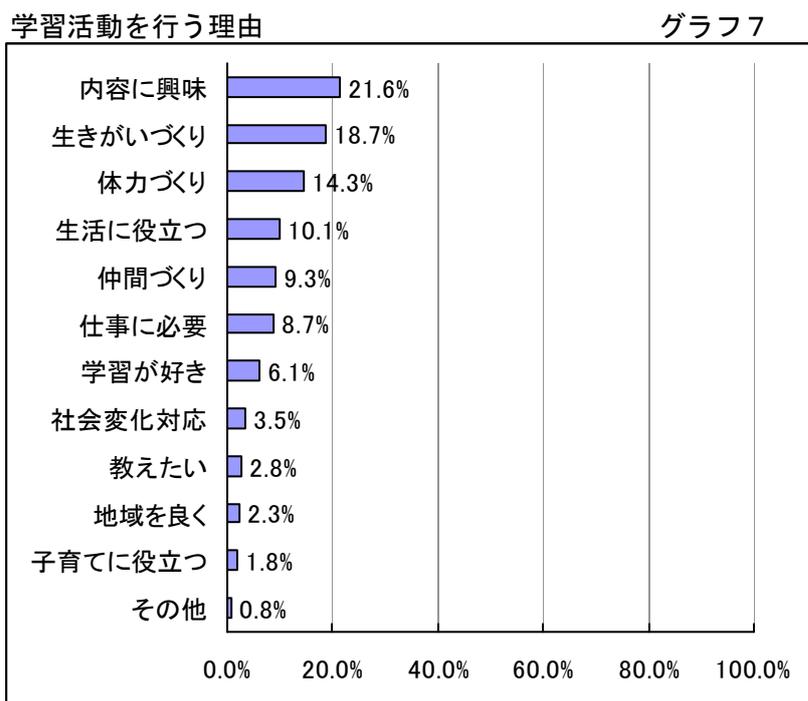
生涯学習社会を構築するためには自己のための学習から地域や社会のための学習に目を向けてもらわなければなりません。

個人の学習を社会的な活動に結びつけることが社会教育の役割と考えます。



(3) 学習活動を行う理由

問9 あなたが学習する理由は何ですか。(3つまで選択)



学習を行う理由は、内容に興味があるが 21.6%、生きがいづくりや心を豊かにしたいが 18.7%、体づくりや健康管理に役に立つが 14.3%、日常生活に役に立つが 10.1%でした。自分が興味を持ったものを学習するということは、生涯学習の本質である「自主性」から当然と考えますが、生きがいづくり、健康管理、日常生活のためなど、やはり自分の生活をより良くするための学習が中心となっています。

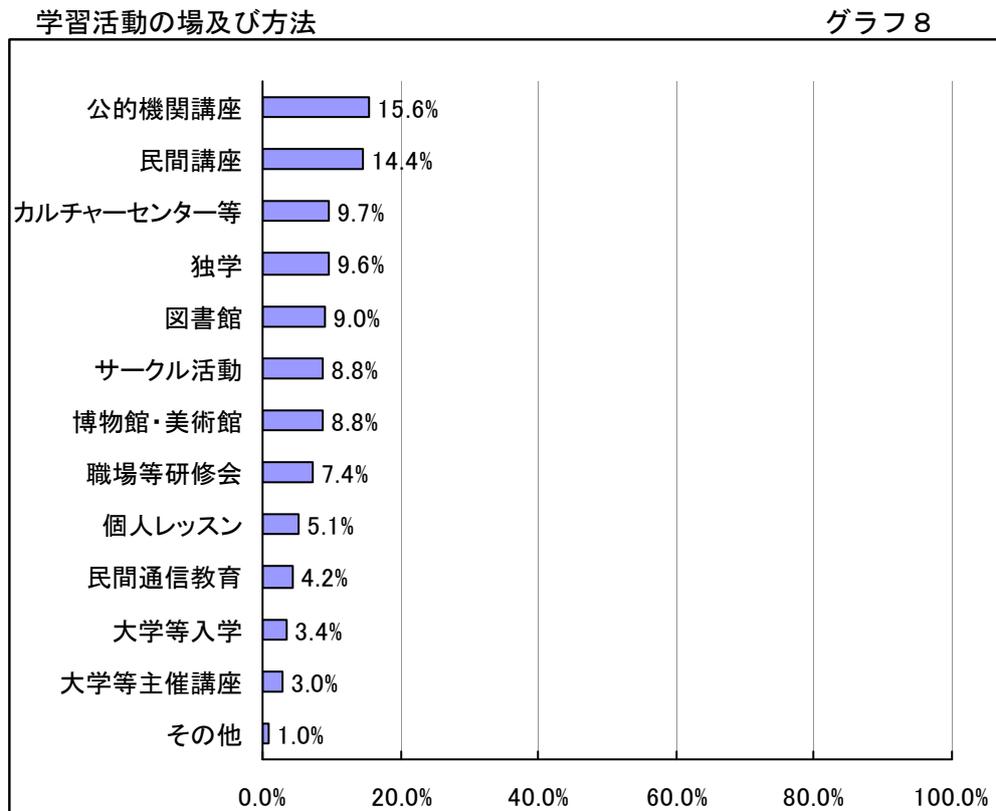
地域をより良くしたいからという回答は 2.3%しかなく、個人のための学習を地域づくりにつなげていくことが社会教育行政の大きな課題といえます。

また、学習を行う友人や仲間を作りたいという意見も 9.3%あり、学習活動に地域での仲間づくりを求めることも少なくはないと考えます。

行政としては個人的に興味をもつ内容によって、まず自主的に学習活動を始めてもらうこと、さらに個人的な学習から仲間をつくり、その仲間が地域活動につなげていくという昔ながらのステップを改めて考えていく必要があります。

(4) 学習活動の場及び方法

問 10 あなたは、どこで、あるいはどのような方法で学習しましたか。(該当するものすべて選択)



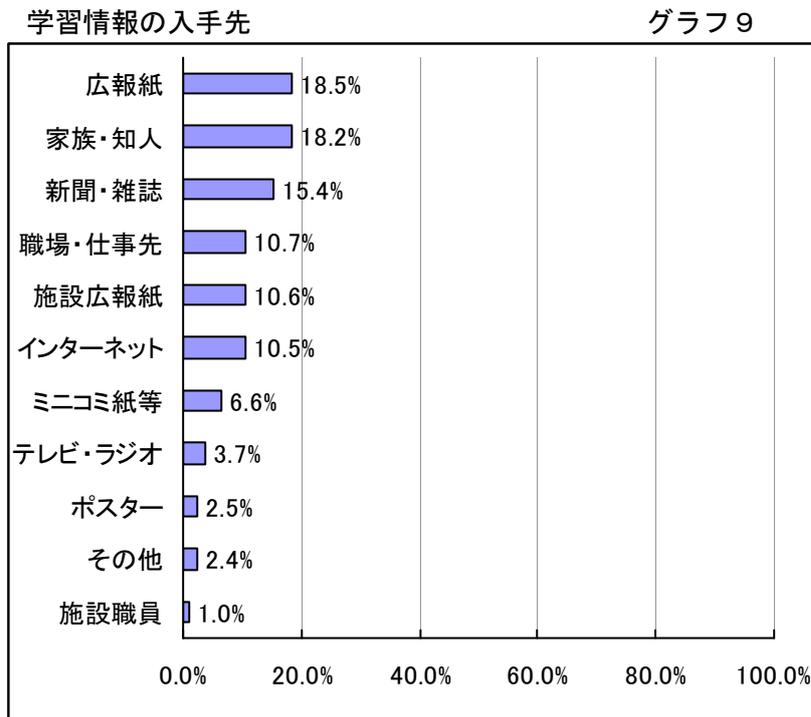
学習場所や学習方法、公的機関の主催した講座等への参加が 15.6%、民間団体が主催した講座等への参加が 14.4%、カルチャーセンターや塾で学習 9.7%、大学や各種学校等の主催した講座への参加が 3.0%など、どこかに習いに行く、学びに行くということが学習活動だと考えている人が多いことがうかがえます。

自主的なサークル活動やクラブ活動は 8.8%であり、学習活動は個人的な活動と受け止められているようです。

しかし、学習の場や方法については、特に際立ったものはなく、個人個人が自分に合った方法で、様々な学習形態をとっていると考えられます。

(5) 学習情報の入手先

問 11 あなたは、その学習の情報をどこから入手しましたか。(3つまで選択)



学習情報の入手先については、広報よこすかや県のたよりが 18.5%と最も多く、次いで家族・知人などからが 18.2%と口コミで伝わる情報が多いことがうかがえます。

新聞・雑誌が 15.4%に対し、生涯学習施設が発行する情報紙は 10.6%にとどまり、情報提供にさらなる工夫が求められます。

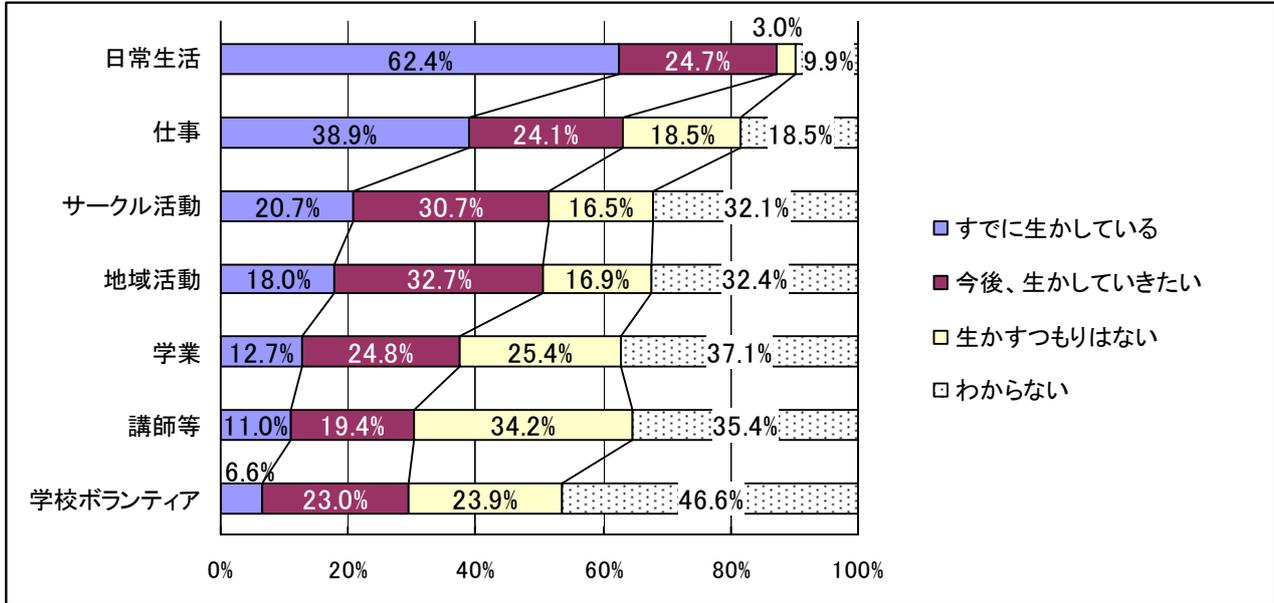
情報の入手方法は実に多様であり、また、実に様々な情報が氾濫しています。これまでの提供方法だけでは、必要な人に必要な情報を提供することは益々難しくなると考えられます。情報提供のあり方を検討する必要があるといえます。

(6) 学習成果の還元

問 12 あなたはこれまで学習して身につけてきた知識や技能など（学習の成果）を何かに生かしていますか。あるいは生かしてみたいと思いますか。（それぞれ1つ選択）
また、特に生かしてみたい活動等の場があればお書きください。

学習成果の還元

グラフ 10



これまで学習した知識や技能を何に生かしているか、また何に生かしたいか尋ねましたが、すでに生かしているのは日常生活が 62.4%、仕事も 38.9%と高いものでした。

地域活動やボランティア活動に関しては、すでに生かしているが 18.7%、今後生かしていきたいが 32.7%、サークル活動はすでに生かしているが 20.7%、今後生かしていきたいが 30.7%でともに生かす方向性を示したものが 50%を超えました。

しかし、日常生活と仕事以外ではわからないと回答した割合も高く、学校ボランティアでは 46.6%、学業 37.1%、講師や指導者 35.4%でした。

学校ボランティアに関しては特に活動がイメージしにくいものと考えられます。

これまでの学習活動は自己のための学習にとどまっているため、地域や他の人のための活動に生かす意識はまだ醸成されていないものと考えられます。学習成果を広く地域や社会に生かしていくという意識を醸成するための啓発活動が必要と考えます。

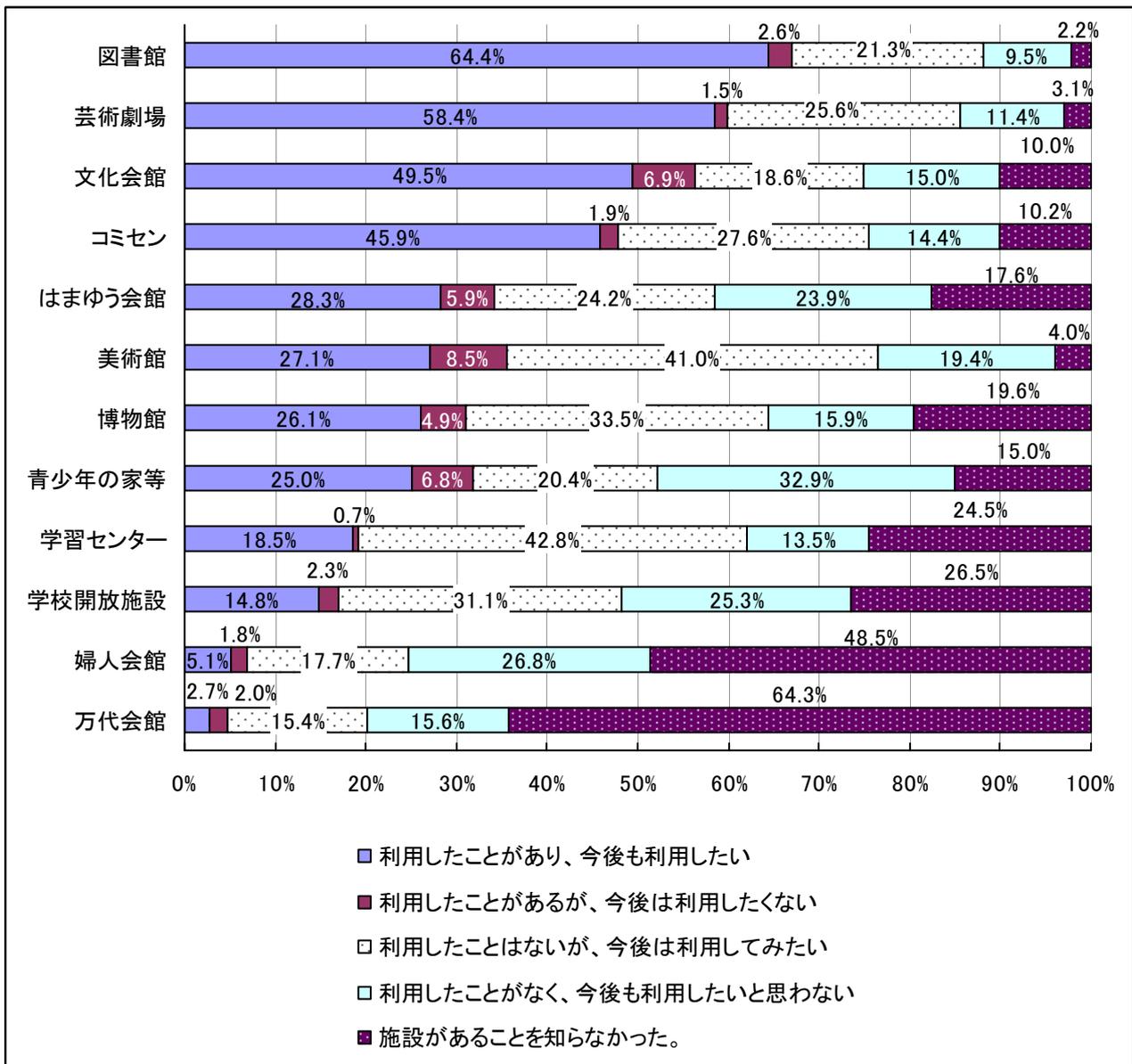
4 生涯学習施設

(1) 生涯学習施設の認知度及び利用度

問 13 あなたは、次の横須賀市の施設を利用したことがありますか。また、今後の利用についてはどう思いますか。なお、施設を利用したことがない方は、このような施設があることを知っていましたか。(それぞれ1つ選択)

生涯学習施設の認知度及び利用度

グラフ 11



本市の施設の利用状況については、利用したことがあります、今後も利用したいと回答したものは図書館が64.4%、芸術劇場が58.4%、文化会館が49.5%、コミュニティセンターが45.9%でした。利用したことはないが今後利用してみたいという回答は、生涯学習センター42.8%、美術館が41.0%、自然・人文博物館33.5%、でした。施設そのものを知らなかったのは、万代会館64.3%、婦人会館48.5%、学校開放施設26.5%、生涯学習センター24.5%でした。逆に図書館は2.2%、芸術劇場は3.1%、美術館は4.0%と認知度は高いものでした。

利用したことはあるが、今後は利用したくないは、美術館は 8.5%、文化会館が 6.9%、青少年会館・青少年の家が 6.8%、はまゆう会館が 5.9%、少ないのは生涯学習センターで 0.7%、次いで芸術劇場の 1.5%でした。

利用経験者が半数に満たない施設が多く、施設の周知を図る必要性、また繰り返し来館したいという気持ちを持たせる必要性があるといえます。各施設で対応が必要といえます。

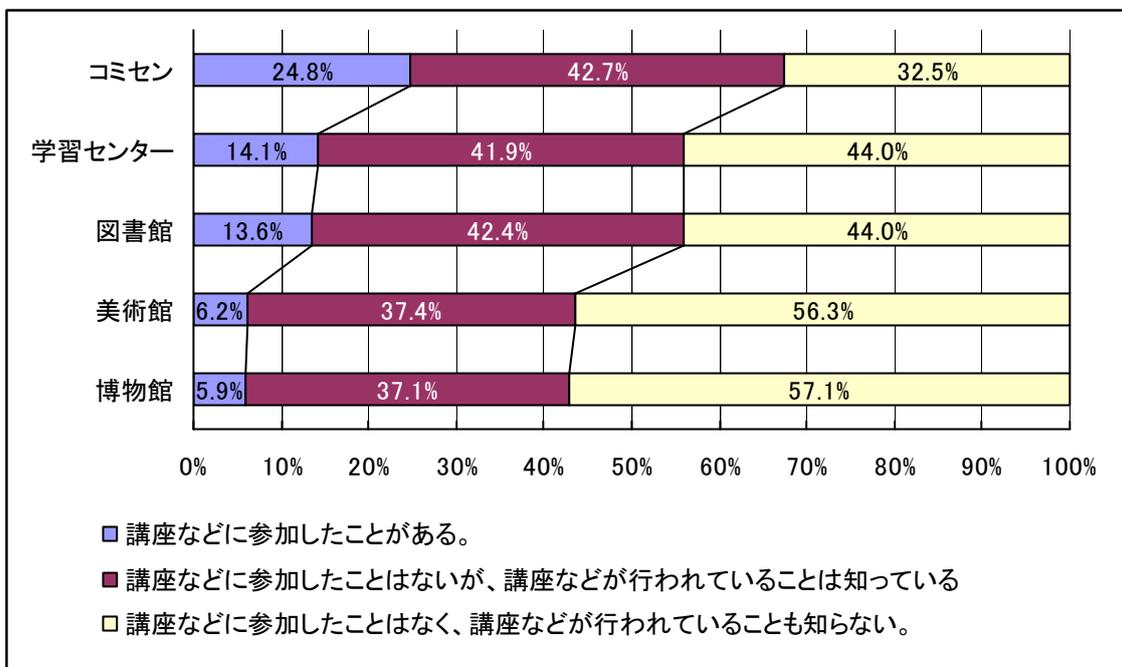
また、横須賀美術館に対する厳しい意見が多かったのですが、今後、これらの市民から高い評価を得られるように、横須賀美術館の良さを広くアピールしていくことが必要といえます。

(2) 生涯学習施設の実施事業の認知度及び参加度

問 14 あなたは、次の社会教育を行う横須賀市の施設が主催した講座など(講座、教室、講演会、講習会、ワークショップ、イベント等)に参加したことがありますか。また、これらの施設で講座などを行っていることを知っていますか。(それぞれ1つ選択)

生涯学習施設の実施事業の認知度及び参加度

グラフ 12



社会教育事業を行う施設で講座等の認知や参加を尋ねましたが、認知率の低い施設が多く、また実施していることは知っていても参加したことがない割合も高いものでした。

参加率は最も高いコミュニティセンターでも 24.8%であり、全体的に一部の市民しか参加しない或いは参加できない状況がうかがえます。

講座を実施する曜日、時間帯に工夫が必要であるとともに、必要な情報をいかに必要な市民のもとに周知できるかという広報活動の課題でもあるといえます。

また、どんなに工夫をしてもすべての市民が事業に参加できることは困難といえますので、事業に参加した学習者が、その知識を少しでも、地域に還元できる仕組みを考えることも必要といえます。

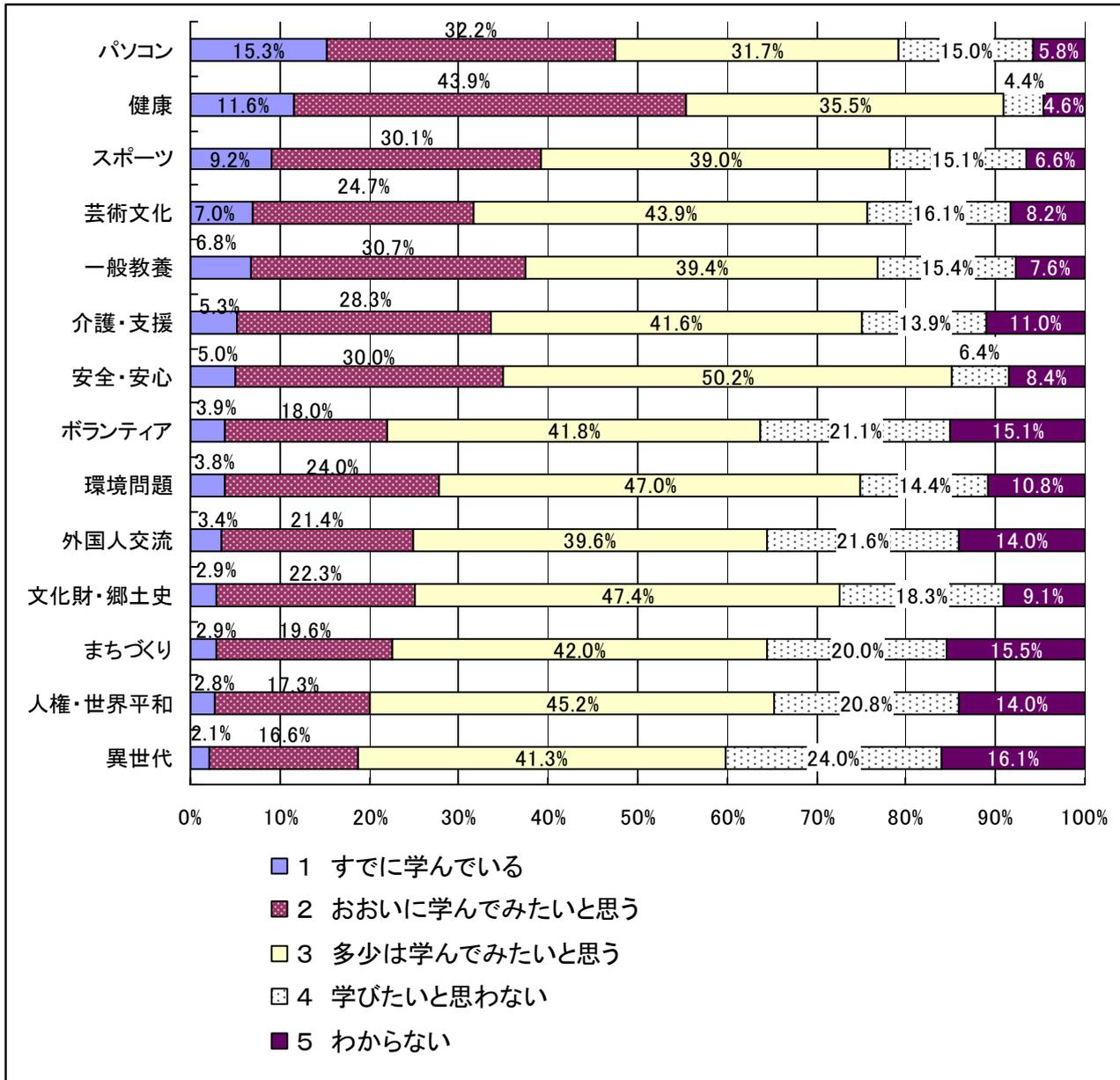
5 社会的な課題

(1) 社会的課題に対する市民の学習ニーズ

問 15 あなたは、今後、次のことを学んでみたいと思いますか。①から④のそれぞれにお答えください。(それぞれ1つ選択)

社会的課題に対する市民の学習ニーズ

グラフ 13



学習要求については、現代社会における課題を多く設定したこともあり、分散したため、すでに学んでいるものはパソコン操作やインターネットに関するものが15.3%、健康維持・健康増進に関するものが11.6%など全体的に低くなっています。

おおいに学んでみたいものは、健康維持・健康増進に関すること43.9%、パソコン操作やインターネット32.2%、一般教養30.7%、体育やスポーツ・運動が30.1%、安全・安心に関するものが30.0%と高く、多少は学んでみたいは健康維持・健康増進に関すること以外のすべての項目で最も高くなっ

ています。中でも安全・安心な生活に関することは 50.2%、地域の文化財や郷土史は 47.4%、環境問題やエネルギーに関することは 47.0%と高くなっています。ただし、全体的に未回答の割合も 15%程度と高くなっています。

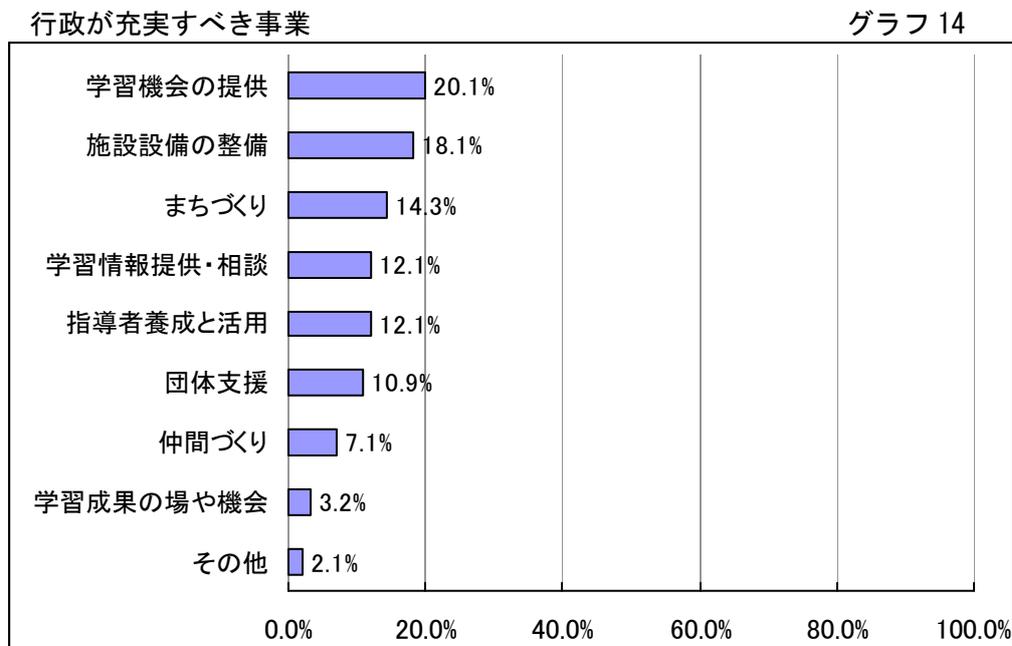
やはり学習要求は個人的な必要性に基づく学習が、社会的要請に基づく課題よりも関心が高いことがうかがえます。

健康など関心の高い事業とともに社会的要請の高い課題をいかに学習に結びつけるかが課題といえます。

6 社会教育行政の優先度

(1) 行政が充実すべき事業

問 16 あなたは、さらに生涯学習を推進するために、行政は特に何を充実させるべきだと思いますか。(3つまで選択)



社会教育行政が充実すべきものについては、市民は、講座等の学習機会の提供と回答した割合が 20.1%と最も高く、次いで学習活動を行う施設や設備の整備 18.1%、まちづくり、地域づくりにつながる事業 14.3%となっていますが、特出して高いとはいえません。

市民の意識としては機会の提供や学習環境の整備を期待しているようですが、すべての市民に満足していく学習機会を提供していくことは難しく、市民自らが学習した成果を持ち寄って、新たな学習の機会を創出し、地域に講座等の学習機会を提供していける仕組みが必要と考えます。

今後、学習環境の整備とともに、行政としては学習成果を地域還元するための支援や自主的に地域活動を推進するための仲間づくりなどを支援すべきと考えます。

7 自由意見から

様々な意見が寄せられていますが、情報提供に関する意見が目立ちました。生涯学習に関する情報が手元に届いていないのが実情のようです。施設にしても事業にしてもその存在を知らない場合が多く、その存在を周知することが優先課題といえます。なお、多くの市民は、生涯学習に必要な情報は自ら探すものではなく、手元に届けてほしいと考えているようですが、情報の入手方法についても周知を図ることが必要といえます。

昨今の経済状況を反映し、学習にかかる費用が捻出できない、参加費や交通費等のやりくりがつかずに参加できないという意見も多く見られました。経済状況が改善されなければ、生涯学習を行うことは困難だと考えている方もいます。講座を受けに行くことだけが生涯学習ではないことを啓発することも必要です。

本市には生涯学習のための施設が少ない、会場を予約できない、施設が高台等にあるので行きにくいなど、施設に関する意見があり、高齢者や子育て世代を中心に身近な場所で学習できるようにしてほしいという環境整備に関する意見が見られました。また、学習環境については、障がいを持つ方が参加しやすいエレベーター等のあるバリアフリーの学習環境、小さな子どもがいても参加できる学習環境、また、高齢者にとって学習する場はもっと身近にあることが大切だという意見も寄せられました。

日本人のモラルが低下しているため、社会規範を学習する社会教育が必要だという意見、社会のルールを守り、互いに気持ちよく暮らせる社会にしてほしいという意見も見られ、社会に対する批判、不満なども寄せられました。

講座等、事業に関しては、仕事を持つ者も事業に参加できるように土曜日、日曜日や夜間の午後7時以降の開設、さらに休日でも参加したくなるような内容が重要であるという意見がありました。また、子どもがいるので午前中に実施する事業、定年後の男性が地域に出られるような事業、若い世代のための事業等の開設を望む意見がありました。

学習したいがその「きっかけ」がないので、もう一押ししてほしいという意見、ひとりでも気軽に参加できるようにしてほしい、中年の世代が参加しやすい環境をとという意見、今回のアンケートが送られてきたことにより、生涯学習を知った、何か始めてみようと思ったなど何かの「学びのきっかけ」を求める声がありました。

様々な要望が多い中、「行政の生涯学習支援とは、学びを『個』だけで完結させず、線で結び、学んだ人たちの力を地域に帰すことが重要だ。」という意見がありました。社会教育には、社会的課題の解決を図り、社会規範を教えるというイメージもありますが、生涯学習とは、まさしく、行政が押し付けるものではなく、一人ひとりが自主的に学習活動を行うものであり、その学んだ成果が個人のためだけに生かされるのではなく、より良い地域をつくっていくために、積極的に地域や社会に生かしていくことが重要だと考えています。行政が行う講座やイベントは、知識の伝達だけに留まるのではなく、地域活動に結び付けるための手段の一つであるべきだと考えます。

Ⅲ 集計結果

1 基本的属性

(1) 性別

問1 あなたの性別を〔 〕内にお書きください。

表1

性別	人数	回答率
1 男	298	42.8%
2 女	399	57.2%
計	697	100.0%

※未記入等 14

(2) 年齢

問2 あなたの現在の年齢は、次のどれに該当しますか。番号に○をつけてください。

表2

年齢	人数	回答率
1 29歳以下	57	8.1%
2 30～39歳	92	13.0%
3 40～49歳	102	14.4%
4 50～59歳	128	18.1%
5 60～69歳	161	22.7%
6 70歳以上	168	23.7%
計	708	100.0%

※未記入等 3

(3) 職業等

問3 あなたの主たる職業などを教えてください。番号に○をつけてください。

表3

職業	人数	回答率
1 会社員・公務員・団体職員	179	25.4%
2 学生	10	1.4%
3 事業主	25	3.6%
4 自由業	15	2.1%
5 専業主婦・主夫	174	24.7%
6 パート・アルバイト・派遣社員	95	13.5%
7 無職	181	25.7%
8 その他	25	3.6%
計	704	100.0%

※未記入等 7

8 その他

研究職・看護師 2・在日米軍従業員・宗教法人職員・医療関係 2・教諭 2・介護職員 2・保育士 2・
 薬剤師・飲食店 2・個人タクシー及び漁業・アパート経営・嘱託職員・華道教授・自営業手伝い・
 主婦で半日パート・家事雑事等年金生活・定職なし、休職中・生活保護

(4) 居住地区

問 4 あなたは市内のどちらの地域にお住まいですか。次のページの管内別町名一覧表から、あなたの
 の住んでいる町の町名が入っている地域を選んで番号に○をつけてください。

表 4

居住地域	人数	回答率
1 市役所本庁管内	101	14.4%
2 追浜行政センター管内	58	8.3%
3 田浦行政センター管内	28	4.0%
4 逸見行政センター管内	18	2.6%
5 衣笠行政センター管内	110	15.7%
6 大津行政センター管内	72	10.3%
7 浦賀行政センター管内	90	12.8%
8 久里浜行政センター管内	94	13.4%
9 北下浦行政センター管内	64	9.1%
10 西行政センター管内	67	9.5%
計	702	100.0%

※未記入等 9

2 余暇活動

(1) 余暇生活における満足度

問 5 あなたは、現在のご自分の生活で、余暇の過ごし方については、どのくらい満足していますか。
 1つ選んで番号に○をつけてください。

表 5

満足の度合い	人数	回答率
1 満足	139	20.0%
2 どちらかといえば満足	340	49.0%
3 どちらかといえば不満足	136	19.6%
4 不満足	45	6.5%
5 わからない	34	4.9%
計	694	100.0%

※未記入等 17

(2) 余暇活動の状況

問6 あなたは、ご自分の人生や生活をより豊かに、より充実させ、より満足させるために、どのようなことをしていますか？あるいは、これからどのようなことをしたいと思いますか？主なものに3つまで、番号に○をつけてください。

表6

活動内容	人数	回答率
1 勉強や稽古ごと、習いごとなど何かを学習する	242	13.9%
2 スポーツ・運動など体を動かす	337	19.3%
3 芸術鑑賞（音楽・美術・演劇など）をする	199	11.4%
4 読書をする	172	9.9%
5 旅行をする	390	22.4%
6 自然に親しむ活動をする	148	8.5%
7 サークル活動など仲間と何かをする	109	6.3%
8 地域活動・ボランティア活動をする	85	4.9%
9 その他	62	3.6%
計	1,744	100.0%

未記入等 18

9 その他

- ・家族の時間を大切にする。休日はできるだけ一緒に過ごせるようにする。4
- ・家族みんなで力を合わせて作業をする
- ・子どもと一緒に過ごす
- ・子どもと色々な所へでかける
- ・今はまだ子育てに忙しくて仕事・家事以外はすべて子どものために費やしている。家族の休みが合えば旅行が楽しみ。
- ・子育てが忙しい
- ・子育て中で体を休めたい
- ・子育てで充実
- ・足腰が弱らないように軽い運動を近場で出来るような市の働きをお願いする
- ・70代は大変元気で趣味を求めている。コミセン等でのきちんとした講演や学習は貴重だ。
- ・浮かんできたことを文章にして、子供、孫に読んでもらう。母とおしゃべり
- ・自分のおいたち、先祖の出、今判っている部分を点から線に結びつけるボランティアの人がほしい
- ・自分の健康を考えながら、各項目をそれなりにやっています
- ・毎日自分の状態により今日は何が出来るか考えて、読書、周りの自然（草木を見る等）に時間を使う
- ・沢山の友達を持つ事
- ・職場の仲間との飲み会
- ・6、7番も大事なことだと思う
- ・基地内と三浦の歴史を外国人にも知ってもらえる様に英語でそれらの史跡について書き始めた
- ・砂村新左衛門の研究をライフワークにしている
- ・PTA活動
- ・民生委員や警察官との談話、相談室への会話
- ・仕事・アルバイト5
- ・働きたい、仕事をしたい
- ・農作業・野菜作り4
- ・介護職、介護食を続けて、楽しく働きたい。利用者の喜ぶ顔が見られるのが楽しい。
- ・リハビリ中
- ・実家で実母の介護
- ・通院2
- ・正しい宗教を信じる
- ・宗教活動
- ・趣味活動3
- ・料理2
- ・料理、見聞の記録、ショッピング
- ・買い物をする
- ・つり、ドライブ
- ・史跡探訪
- ・合唱団
- ・釣り、好きなバンドのライブ
- ・盆栽の指導
- ・民謡（津軽三味線指導）
- ・囲碁教室など解説してくれれば参加したいと考える
- ・映画鑑賞
- ・テレビを見る
- ・スポーツ観戦
- ・色々な所に行く（日帰り）
- ・ダンス
- ・インターネット2
- ・生活状況等において希望が持てず何事においても惰性的。気持ち的には2・6・8等が理想心情。
- ・特になし
- ・今は考えていない
- ・ひたすら体を休める
- 家でボンヤリ
- 何もしない

3 生涯学習について

(1) 生涯学習の経験

問7 あなたは、「生涯学習」として、何かを学習したことがありますか。番号に○をつけてください。(学習の内容は、教養・趣味・健康維持・資格取得・仕事関連・社会問題など、学習の方法も、講座や講演会参加・個人レッスン・教室通い・通信教育・独学など、どんなものでもかまいません。)

表7-1

生涯学習経験有無	人数	回答率
1 ある	486	69.3%
2 ない	215	30.7%
計	701	100.0%

※未記入等 10

※「ある」を選ばれた方は 問8 に進んでください。

※「ない」を選ばれた方におたずねします。学習をしなかったのはなぜですか。もっとも大きな理由を1つ選んで番号に○をつけてください。回答後は、問13 に進んでください。

表7-2

学習をしなかった理由	人数	回答率
1 学習する時間がない	56	28.6%
2 学習する場所がない	5	2.6%
3 学習するには費用がかかる	35	17.9%
4 学習の意欲がわからない	19	9.7%
5 学習する必要がない	5	2.6%
6 学習が好きではない	8	4.1%
7 特に理由はない	56	28.6%
8 その他	12	6.1%
計	196	100.0%

※未記入等 19

8 その他 (1~7を選択し、意見を書いたものも記載)

- ・学習したいことはいろいろとあるのだが、学習を始めるきっかけがつかれない
- ・学びたい気持はあるが一步踏み出す勇気がでてこない。
- ・学習する機会に恵まれなかった
- ・やってみたいと思っても中々行動に移せない
- ・1人で知らない人達と一緒に何かする勇気がでない
- ・初めて知った。今まで知らなかった。
- ・学習する方法がわからない
- ・母の介護に気持ちが集中している
- ・勤務で精一杯の状況
- ・体調不要で意欲がわからない
- ・病気
- ・出産、子育てで、時間がありません

- ・シフト制の仕事で毎週の習い事はできない
- ・費用もかかるが、結局は設定時間が働いている人には無理な時間である。社会を支える納税者たる人々を元気にするようにして下さい。
- ・趣味などに費用を使い最後の人生を生きたいが。
- ・学力の欠落
- ・グループになるのが苦手。決まった日、時間などがいやで、自由参加みたいな方が望みです。
- ・今までの人生のなかで趣味（ゴルフ、旅行）をこれからも続けたいので、学習は個人で行いたい

(2) 学習活動の内容

問8 問7で「ある」と答えた方におたずねします。その学習内容はどのようなことですか。主なものに3つまで、番号に○をつけてください。

表8

学習内容	人数	回答率
1 趣味に関すること	307	26.3%
2 教養を高めること	165	14.1%
3 仕事に必要な知識や技術など	158	13.5%
4 子どもの教育や育児に関すること	38	3.3%
5 生活上の実用的なこと	90	7.7%
6 健康維持・健康増進に関すること	157	13.4%
7 スポーツ・運動に関すること	109	9.3%
8 地域の歴史や文化に関すること	56	4.8%
9 社会的な問題（環境・福祉問題など）	34	2.9%
10 地域活動・地域の振興・まちづくりなどに関すること	39	3.3%
11 その他	15	1.3%
計	1,168	100.0%

※未記入等 10

11 その他

- ・健康維持と教養、より良い舞台、コンサート活動のための自分自身のレベルUPのため、声楽の個人レッスンを受けている。アマチュアだが、一人の音楽家としての活動を生涯続けること。ライフワークとして考えている。
- ・経済の変化、株式・相場の動き ・エステティシャンインストラクター ・ストレス解消
- ・陶芸、生け花、スポーツセンター ・パソコン教室 ・資格を得るために受講しました ・書道
- ・資格取得 ・料理教室 ・華道 ・「創造」に関すること
- ・平成元年から平成8年頃横須賀市教育委員会主催の市民史跡文化財めぐりに参加
- ・市の生涯学習センターで発達心理学、文化人類学、文学関係を2年近く学ばせていただきました。
- ・サークルに入ると長く続けねばならず費用も要ります。1日だけの実習（パン作りや料理、遊ぶおもちゃ作りなど）、年齢子供と一緒になどは関係なしで楽しく出来るというものほしい
- ・まず自分を満たすために、色々チャレンジして心のケアをする

(3) 学習活動を行う理由

問9 あなたが学習する理由は何ですか。その主な理由に3つまで、番号に○をつけてください。

表9

学習する理由	人数	回答率
1 内容に興味があるから	268	21.6%
2 学ぶことが好きだから	76	6.1%
3 仕事に必要なだから	108	8.7%
4 子育てに役立つから	22	1.8%
5 日常生活に役立つから	125	10.1%
6 体力づくりや健康管理に役立つから	178	14.3%
7 社会の変化に対応したいから	44	3.5%
8 友人や仲間をつくりたいから	115	9.3%
9 地域をより良くしたいから	29	2.3%
10 他の人に教えたり、伝えたいから	35	2.8%
11 生きがいつくりや心を豊かにしたいから	233	18.7%
12 その他	10	0.8%
計	1,243	100.0%

未記入等9

12 その他

- ・音楽を愛しているから
- ・自己の充実のため
- ・友人を多く作るために励んだ又励んでいる
- ・心身のリフレッシュ
- ・周囲の人に笑顔をもたらしたいから
- ・他人の意見を聞きたいから
- ・何にでも興味を持って社会の中で遅れないよう又楽しく学べるよう、それには参加することだと思っています
- ・自分自身のために
- ・主人やおじ・おば・友人の親などとても多くの方がガンになりました。そして私もリュウマチを持っているので学習しました
- ・年齢的にはもう欲張るということはない。ただ読書や文書を書くことが好きで、少年の頃から今に至るまで夢を持っている。その他絵画や音楽等にも趣味の一環であり常に興味を多方面に持つことで生きるという喜びを持っていたい。
- ・自分の職場での位置をより向上するため。子どもの教育費を少しでも残すため（給料の増を目指す）
- ・英語を使って、世界中の人と話せるから
- ・友人の誘いにて参加したが、思えば良い勉強をしたと思います。

(4) 学習活動の場及び方法

問 10 あなたは、どこで、あるいはどのような方法で学習しましたか。該当するものすべての番号に○をつけてください。

表 10

学習場所・学習方法	人数	回答率
1 市や県などの公的機関が主催した講座・教室・講演会・ワークショップなどに参加した	206	15.6%
2 民間団体が主催した講座・教室・講演会・ワークショップなどに参加した	191	14.4%
3 職場などで実施した研修会に参加した	98	7.4%
4 図書館で本を読んだり、調べものをしたりした	119	9.0%
5 博物館や美術館の展示品を見学した	116	8.8%
6 大学や各種学校等に入学して学習した	45	3.4%
7 大学や各種学校等が主催した講座・教室・講演会・ワークショップなどに参加した	39	3.0%
8 民間の通信教育で学習した	56	4.2%
9 民間のカルチャーセンターや稽古塾で学習した	128	9.7%
10 自主的なサークル活動やクラブ活動に参加した	116	8.8%
11 専門家の個人レッスンを受けた	68	5.1%
12 本やインターネットを利用して独学で学習した	127	9.6%
13 その他	13	1.0%
計	1,322	100.0%

※未記入等 10

13 その他

- ・仕事を通じて
- ・会社から
- ・国から
- ・教会から
- ・先祖の伝聞 子どもの頃父から
- ・踊りから
- ・知人や友人から
- ・サークルから
- ・テレビやラジオ講習 本やテレビで見たものから
- ・横須賀は大変良い所で、立派な大学も人もいますから講演などすすんでいきたい

(5) 学習情報の入手先

問 11 あなたは、その学習の情報をどこから入手しましたか。主な入手先に3つまで、番号に○をつけてください。

表 11

情報入手先	人数	回答率
1 広報よこすか・県のたより	186	18.5%
2 生涯学習センター・コミュニティセンターなどの施設が発行する 広報紙やちらし	106	10.6%
3 ミニコミ紙など民間の情報紙	66	6.6%
4 テレビ・ラジオ	37	3.7%
5 新聞・雑誌	155	15.4%
6 ポスター	25	2.5%
7 インターネット	105	10.5%
8 生涯学習センターなどの施設の職員から	10	1.0%
9 家族・知人などから	183	18.2%
10 職場・仕事先から	107	10.7%
11 その他	24	2.4%
計	1,004	100.0%

※ 未記入等 17

11 その他

- ・掲示板
- ・書店 4
- ・サンライフ
- ・書籍・専門誌 2
- ・DM 2
- ・友人・知人 3
- ・短大にて
- ・広報紙
- ・ハローワーク 3
- ・通りすがりに見て
- ・チラシ、フライヤー 2
- ・所属団体・学会等の案内 2
- ・個人レッスン
- ・専門の講座機関
- ・他自治体の情報 2
- ・ボランティアグループ
- ・お答えできません

(6) 学習成果の還元

問 12 あなたはこれまで学習して身につけてきた知識や技能など(学習の成果)を何かに生かしていますか。あるいは生かしてみたいと思いますか。①から⑦のそれぞれにお答えください。(それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。)また、①～⑦以外で特に生かしてみたい活動等の場があれば、下の〔 〕内にお書きください。

表 12-1

学習成果の活用について	1 すでに生かしている	2 今後、生かしていきたい	3 生かすつもりはない	4 わからない	計
①日常生活	270	107	13	43	433
②仕事	145	90	69	69	373
③学業	40	78	80	117	315
④サークル活動	73	108	58	113	352
⑤地域活動・ボランティア活動	65	118	61	117	361
⑥講師や指導者としての活動	38	67	118	122	345
⑦学校ボランティア活動	22	77	80	156	335

表 12-2

学習成果の活用について	1 すでに生かしている	2 今後、生かしていきたい	3 生かすつもりはない	4 わからない	回答率計
①日常生活	62.4%	24.7%	3.0%	9.9%	100.0%
②仕事	38.9%	24.1%	18.5%	18.5%	100.0%
③学業	12.7%	24.8%	25.4%	37.1%	100.0%
④サークル活動	20.7%	30.7%	16.5%	32.1%	100.0%
⑤地域活動・ボランティア活動	18.0%	32.7%	16.9%	32.4%	100.0%
⑥講師や指導者としての活動	11.0%	19.4%	34.2%	35.4%	100.0%
⑦学校ボランティア活動	6.6%	23.0%	23.9%	46.6%	100.0%

※未記入等 ①53 ②113 ③171 ④134 ⑤125 ⑥141 ⑦151

その他、特に生かしてみたい活動等の場

- ・外国人の支援
- ・学校教育
- ・小中学校の郷土史に関する授業支援、執筆
- ・華道教室
- ・一般の人より古い伝承を持っていると思っている。この伝承を私一代でとぎれされるかもっとクローズさせるか、生かしてみたいと思っている。
- ・病気の親を見ている友人達と月1回食事会、日々の中で話し合い
- ・後期高齢者となり今は活動していない

4 生涯学習施設

(1) 生涯学習施設の認知度及び利用度

問 13 あなたは、次の横須賀市の施設を利用したことがありますか。また、今後の利用についてはどう思いますか。なお、施設を利用したことがない方は、このような施設があることを知っていましたか。①から⑫のそれぞれにお答えください。(それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。)

表 13-1

施設の利用経験	1 利用したことがあるが、今後も利用したい	2 利用したことがあるが、今後は利用したくない	3 利用したことはないが、今後は利用してみたい	4 利用したことがなく、今後も利用したいと思わない	5 施設があることを知らなかった	計
① コミュニティセンター	289	12	174	91	64	630
② 自然・人文博物館	149	28	191	91	112	571
③ 生涯学習センター	107	4	248	78	142	579
④ 学校開放施設	84	13	177	144	151	569
⑤ 青少年会館・青少年の家	140	38	114	184	84	560
⑥ 図書館(中央・北・南・児童)	372	15	123	55	13	578
⑦ はまゆう会館	159	33	136	134	99	561
⑧ 婦人会館	28	10	97	147	266	548
⑨ 文化会館	287	40	108	87	58	580
⑩ 万代会館	15	11	84	85	351	546
⑪ 横須賀芸術劇場	344	9	151	67	18	589
⑫ 横須賀美術館	156	49	236	112	23	576

表 13-2

施設の利用経験	1 利用したことがあるが、今後も利用したい	2 利用したことがあるが、今後は利用したくない	3 利用したことはないが、今後は利用してみたい	4 利用したことがなく、今後も利用したいと思わない	5 施設があることを知らなかった	回答率計
① コミュニティセンター	45.9%	1.9%	27.6%	14.4%	10.2%	100.0%
② 自然・人文博物館	26.1%	4.9%	33.5%	15.9%	19.6%	100.0%
③ 生涯学習センター	18.5%	0.7%	42.8%	13.5%	24.5%	100.0%
④ 学校開放施設	14.8%	2.3%	31.1%	25.3%	26.5%	100.0%
⑤ 青少年会館・青少年の家	25.0%	6.8%	20.4%	32.9%	15.0%	100.0%
⑥ 図書館(中央・北・南・児童)	64.4%	2.6%	21.3%	9.5%	2.2%	100.0%
⑦ はまゆう会館	28.3%	5.9%	24.2%	23.9%	17.6%	100.0%
⑧ 婦人会館	5.1%	1.8%	17.7%	26.8%	48.5%	100.0%
⑨ 文化会館	49.5%	6.9%	18.6%	15.0%	10.0%	100.0%
⑩ 万代会館	2.7%	2.0%	15.4%	15.6%	64.3%	100.0%
⑪ 横須賀芸術劇場	58.4%	1.5%	25.6%	11.4%	3.1%	100.0%
⑫ 横須賀美術館	27.1%	8.5%	41.0%	19.4%	4.0%	100.0%

※未記入等 ① 81 ②140 ③132 ④142 ⑤151 ⑥133 ⑦150 ⑧163 ⑨131 ⑩165 ⑪122 ⑫135

(2) 生涯学習施設の実施事業の認知度及び参加度

問 14 あなたは、次の社会教育を行う横須賀市の施設が主催した講座など(講座、教室、講演会、講習会、ワークショップ、イベント等)に参加したことがありますか。また、これらの施設で講座などを行っていることを知っていますか。①から⑤のそれぞれの施設についてお答えください。(それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。)

表 14-1

講座等の周知度・周知度	1 講座などに参加したことがある。	2 講座などに参加したことはないが、講座などが行われていることは知っている。	3 講座などに参加したことはなく、講座などが行われていることも知らない。	計
① コミュニティセンター	153	264	201	618
② 自然・人文博物館	34	215	331	580
③ 生涯学習センター	83	246	258	587
④ 図書館(中央・北・南・児童)	80	250	259	589
⑤ 横須賀美術館	36	216	325	577

表 14-2

講座等の周知度・周知度	1 講座などに参加したことがある。	2 講座などに参加したことはないが、講座などが行われていることは知っている。	3 講座などに参加したことはなく、講座などが行われていることも知らない。	回答率計
① コミュニティセンター	24.8%	42.7%	32.5%	100.0%
② 自然・人文博物館	5.9%	37.1%	57.1%	100.0%
③ 生涯学習センター	14.1%	41.9%	44.0%	100.0%
④ 図書館(中央・北・南・児童)	13.6%	42.4%	44.0%	100.0%
⑤ 横須賀美術館	6.2%	37.4%	56.3%	100.0%

※未記入等 ①93 ②131 ③124 ④122 ⑤134

※ 上記の施設に対するご意見がありましたら〔 〕内にお書きください。

- ・もう少し目立つ広報が欲しい(まなびかん)
- ・中央図書館は大人向けの本が全くない。児童向けばかりなので南図書館にあるような本を置いて欲しい
- ・2・3カ月に1度ついでに図書館に行って、どんな本があるかのぞく程度で、実際にはまだ本を借りたことがない。それも行政センター内の図書館でのことで、好みのよしあしで、これは見たいというものにはまだ出くわしたことがない。やはり、見たい本は買うに限る。
- ・自然・人文博物館職員の対応態度について一言申し上げたいのですが大学の史跡研究員ではないので、来場者に対してはきちんとあいさつして丁寧に応接する必要があると思います。
- ・美術館には行ったことはないが、横須賀市民は興味がないということを知ることが多いので、あまり行く気がしない。行ったことのある人の感想もあまりいいものではなかった。
- ・美術館は採算はとれていますか? 不採算な箱物は早く閉鎖しましょう。税金のムダです
- ・横須賀美術館を必要だと思う市民はいますか?

- ・横須賀美術館での講座とはどんなものでしょうか？
- ・横須賀美術館は、興味のわく企画展がなく、さらに不便なため利用したことがなく、今後も利用するつもりもない。
- ・東京国立美術館のようにいつも常設展があり、所蔵美術品が見られるコーナーがあるといい。床が木製なので歩くと音がするので良くない、見てて気持ちがわる
- ・横須賀美術館は必要ないです。前の公園の方が良かったと思う。
- ・横須賀美術館内の絵画の趣味が悪い
- ・美術館の存在、維持は横須賀市にとってマイナスでしかないと思う。早く売却を考えるべき。税金のムダ遣い。市民の反対を押し切り建築され、残念だった。
- ・横須賀美術館の場所がよくない
- ・横須賀美術館においては市民の知らない内に市長が半ば強引に建設してしまい今後の運営がとても心配。そして内蔵している作品も非常にお粗末。入れ物ばかり立派で中身が空っぽの美術館といった感じがする。場所も悪い。横須賀の観光目的のためだけに作ったのなら、本来の美術館の意味がない。
- ・美術館は交通の便が悪い。
- ・美術館は市民の血税を使ってまで作った意味があるのでしょうか。疑問です。
- ・美術館地理的に不便、スペースをとりすぎ
- ・万代会館は駅から近くとても良い所ですが、利用しにくいのが残念です。
- ・生涯学習センターや美術館までの交通の便が悪い
- ・自然・人文博物館、横須賀美術館に託児施設欲しい。生涯学習センターの託児は使いづらく、講座の延長のたびに文句を言われた。できれば無料に。
- ・参加したい講座があっても、土・日・祝祭日や夜でなければ、参加できない（仕事をしているため）
- ・いつも思いますが、こういう講座はいつも決まった人が参加し、先生とも仲良くし、グループを作り、他の人を仲間にしなないとよく聞きます。行きづらい。仕事でないのに人に気を遣いたくない。
- ・土日仕事だったので、出席もできなかったと思う
- ・車のナビには検索結果で場所が分かるが携帯のナビには存在しない場所もあるので何もしようと思わない。
- ・距離・交通手段の問題が大きいです
- ・どうもこういう施設は暗く、建物の臭いもあり自分自身これからも使うことはありません
- ・箱モノを造るのはやめてほしい。造るのにもお金（税金）がかかり、造ったあとの維持にも税金がかかる。もっと生活に必要なところに税金を使ってほしい。
- ・場所が良くない、交通の便が悪い、経費がかかり赤字になっていないのですか、赤字はこまります。
- ・財政が苦しい中、正直ムダな事が多いと思う

5 社会的な課題

(1) 社会的課題に対する市民の学習ニーズ

問 15 あなたは、今後、次のことを学んでみたいと思いますか。①から⑭のそれぞれにお答えください。
(それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。)

表 15-1

学習要求の度合い	1 すでに学んでいる	2 おおいに学んでみたいと思う	3 多少は学んでみたいと思う	4 学びたいと思わない	5 わからない	計
① 安全・安心な生活に必要なこと	29	174	291	37	49	580
② 健康維持・健康増進に関すること	71	268	217	27	28	611
③ パソコン操作やインターネットに関すること	92	194	191	90	35	602
④ 語学や歴史など一般教養を高めること	40	181	232	91	45	589
⑤ 美術や音楽など芸術文化に関すること	41	144	256	94	48	583
⑥ 地域の文化財や郷土史に関すること	17	130	277	107	53	584
⑦ 人権問題や世界の平和に関すること	16	100	261	120	81	578
⑧ 環境問題やエネルギーに関すること	22	138	271	83	62	576
⑨ 体育やスポーツ・運動に関すること	54	177	230	89	39	589
⑩ 高齢者や障がい者などの介護・支援に関すること	31	165	243	81	64	584
⑪ 外国人との交流や、外国文化に関すること	20	125	231	126	82	584
⑫ 異なる世代とのコミュニケーションに関すること	12	96	239	139	93	579
⑬ 福祉や学校支援などボランティアに関すること	23	106	246	124	89	588
⑭ まちづくり・地域おこしに関すること	17	115	246	117	91	586

表 15-2

学習要求の度合い	1 すでに学んでいる	2 おおいに学んでみたいと思う	3 多少は学んでみたいと思う	4 学びたいと思わない	5 わからない	回答率計
① 安全・安心な生活に必要なこと	5.0%	30.0%	50.2%	6.4%	8.4%	100.0%
② 健康維持・健康増進に関すること	11.6%	43.9%	35.5%	4.4%	4.6%	100.0%
③ パソコン操作やインターネットに関すること	15.3%	32.2%	31.7%	15.0%	5.8%	100.0%
④ 語学や歴史など一般教養を高めること	6.8%	30.7%	39.4%	15.4%	7.6%	100.0%
⑤ 美術や音楽など芸術文化に関すること	7.0%	24.7%	43.9%	16.1%	8.2%	100.0%
⑥ 地域の文化財や郷土史に関すること	2.9%	22.3%	47.4%	18.3%	9.1%	100.0%
⑦ 人権問題や世界の平和に関すること	2.8%	17.3%	45.2%	20.8%	14.0%	100.0%
⑧ 環境問題やエネルギーに関すること	3.8%	24.0%	47.0%	14.4%	10.8%	100.0%
⑨ 体育やスポーツ・運動に関すること	9.2%	30.1%	39.0%	15.1%	6.6%	100.0%
⑩ 高齢者や障がい者などの介護・支援に関すること	5.3%	28.3%	41.6%	13.9%	11.0%	100.0%
⑪ 外国人との交流や、外国文化に関すること	3.4%	21.4%	39.6%	21.6%	14.0%	100.0%
⑫ 異なる世代とのコミュニケーションに関すること	2.1%	16.6%	41.3%	24.0%	16.1%	100.0%
⑬ 福祉や学校支援などボランティアに関すること	3.9%	18.0%	41.8%	21.1%	15.1%	100.0%
⑭ まちづくり・地域おこしに関すること	2.9%	19.6%	42.0%	20.0%	15.5%	100.0%

※ 未記入等 ①131 ②100 ③109 ④122 ⑤128 ⑥127 ⑦133 ⑧135 ⑨122 ⑩127 ⑪127
⑫132 ⑬123 ⑭125

その他、学習してみたいもの

- ・書道・植物、植木の手入・心理学、統計学、色彩学・自然科学・医学・内政、政治学
- ・手話・郷土史2・ハイキング・星の名・美に関する事、女性らしさ、マナー、メイク、食、音楽
- ・礼儀作法・パソコン・子どものアレルギーの最新情報・地域の文化財
- ・ベースがあるので外国人との交流に必要なになるので、語学を学べる場がもっとあった方がよい
- ・地域の活動・学校との協力・学校教育、児童福祉など・異なる世代と一緒に料理
- ・横須賀市の防災マップと防災対応・
- ・福祉という言葉がいればなんでもOKの考えがある。もっと行政は現役納税者を大切にしてほしい。

- ・税金の正しい使い方について ムダの削除（何と言っても人件費ですよ？民間は大変なんですよ！）
- ・みんなたてまえだけだった。
- ・一人でくらししていると家のことで高齢のためひまがない。
- ・なかなか自由時間がないので学ぶことはありません。
- ・今のところはない ・交通費を使ってまで学ぶ気持ちはありません
- ・時間場所をきめずここにいけば学べますとしてほしい。

6 社会教育行政の優先度

（１）行政が充実すべき事業

問 16 あなたは、さらに生涯学習を推進するために、行政は特に何を充実させるべきだと思いますか。特に充実すべきと思うものに3つまで、番号に○をつけてください。

表 16

行政が充実させるべきもの	人数	回答率
1 講座、ワークショップなどの学習機会の提供	299	20.1%
2 学習活動を行う施設や設備の整備	269	18.1%
3 生涯学習を支援する指導者（講師・コーディネーター等）の養成と活用	181	12.1%
4 さまざまな学習情報の提供や学習相談体制	181	12.1%
5 まちづくり、地域づくり（地域コミュニティづくり）につながる事業	213	14.3%
6 グループ学習のための仲間づくりの支援	106	7.1%
7 地域で活動する団体の支援	163	10.9%
8 日頃の学習の成果を発表するための場や機会	47	3.2%
9 その他	31	2.1%
	1,490	100.0%

9 その他

- ・今の生涯学習の状態でよいと思う。
- ・市に大きな経済的負担をかけずに一人一人が生涯学習をすべきと個人的には考えています。勿論現在ある図書館、美術館、芸術劇場は多に利用させていただきます。
- ・横須賀芸術劇場等、文化面に関するもので海外のように国が保護をしていくべき。利用料金や学べる機会…考えるべきと思う。
- ・地域福祉の推進につながるような取り組みをしてほしいです。
- ・支援や指導者、設備や機会ではなく、楽しさ、達成感、仲間意識を念頭に置き、ストレス解消、孤独感をなくし、生きる事の大切さを学ばせることが先決だと思います。
- ・民間のカルチャーセンターなどにはできない、地域の特色を生かした企画。米軍基地があること、近代史上の役割などが面白いと思う。
- ・今後日本は、高齢化するため、その年齢が高い人達の事も考えた内容としてほしい。
- ・講座の種類、量・質の向上
- ・生涯学習のことを全部知りたいです。どこで何を行政のことを勉強したいです。
- ・「学ぶ」ことの素晴らしさ・活用のしかたの提案（ガイドラインの作成・周知）「こころ」について学ぶ機会が欲しい（哲学、心理学、宗教、思想類）
- ・環境問題、子ども達が遊ぶ場所、公園、年寄りのゲームの場所 ・農業
- ・今、この時代市民が何を求めているか、何を知りたいか、何を学びたがっているか、生活に根差した

- 学びの場、講座なり支援を考えて提供してほしい。
- ・食生活をサポートするための情報誌発行、高齢者・単身者のために
- ・町内会館を使い何か老人の役にたつことをしてほしい。
- ・自分では今までの仕事を生かしてまた仕事をしたいと思います。

- ・生涯学習をしているサークルが増える一方、使用する施設が少なく、場所確保が非常に困難である。
- ・リクエストBOXを作り、市民の声を聞くこと、必要な人に応える、場所を安く、個人でも借りやすくしてほしい、音楽室を1人でも借りられる施設を増やしてほしい、家では練習できずに困っている。
- ・老人やいつも参加している人を排除してほしい。機会均等に行きやすい雰囲気を作ってほしい。
- ・土日を利用できるようにしてほしい。北体育館・行政センター まなびかんのようにもっと内容を豊富にしてほしい
- ・西行政センター管内に学習活動を行える施設が少ない。
- ・運動をするための大きな広場を地域に確保してほしい。
- ・託児付など小さな子どもがいても学べる環境 ・託児。子どもがいると何もできない
- ・コミュニティの場所がとりにくい。
- ・すこやか等利用金額（利用料）の値下げ、市民料金の導入（使いたいと思うが1回の利用料を考えると毎回とはいかない。）

- ・情報提供の場の協力（広報の紙面、行政センター等でのチラシを置くスペース（机でも可））
- ・講座・ワークショップなどの実施していることの情報発信。発信しているならば、どのような手段で確認できるのかわからない。
- ・色々な行事、サークル活動等、知る機会が少ない。以前のように広報よこすかに載っているときは楽に知ることができた。広報よこすかに提示されている時は活気があった様に思う。
- ・広報活動していること自体知らなかった ・広報

- ・体育館に音楽を流せる施設を作るため、BGMを流しながら身体を動かせるような形など、（ダンス・ヨガ等）またインストラクターの声がマイクを通して流せる等

- ・西行政センター管内にありますと、交通（バス）がとても不便に感じます。
- ・以前新しくできた施設に行ったときに、「ここは違います」と冷たい対応をされたので、どの施設でどんなことをするかわからない人もいますので、もう少し誠意をもって話していただきたいです。
- ・市民病院に倣い、民営化か規模縮小すること（完全民営化）。理由はそちらでお考えください
- ・わからない、イメージがわからない。 ・正直わからない。
- ・行政には、何も期待しておりません ・なし
- ・体が弱く何も活動できず参加しないでごめんなさい。 ・技術レベルの分割

●その他、本市の社会教育や生涯学習推進について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・横須賀の山のハイキングコースやトレッキングコースなどの自然の山をもっと充実してほしい。それで子供達にも、たくさん自然の中に入って勉強させた方が良いのでは？
- ・神奈川県に移り住んでまだ2年しかたっていないので多くの情報が知らないことだらけでした。広報活動をもっと広めてほしいです
- ・この度は、本アンケートの対象者とさせて頂きありがとうございます。横須賀市の〇〇学習は余暇を利用し興味のあるものには出来得るかぎり参加を心掛けております。しかしながら、年金生活者になれば交通費が馬鹿にならず〇〇学習に参加する前に交通費の計画から参加の可否を選択を要します。生涯学習参加者に対する交通費の若干の割引も検討されたい。
- ・市が講座等を開催していることをもう少し宣伝すべきだと思います。また、廃校になった学校（旧市立学校）を利用すべきだと思います。
- ・礼儀作法、道徳、人への思いやりなど親として子供にできる教育を希望
- ・統合失調症、2級の娘と二人暮らしで、生活が苦しくて、参加出来ません。心迄貧しくならない為に、自宅で努力しています。小学、中学生時代に戦争で、学ぶ事が出来ませんでした。今、洋裁、編物、折紙、英語、習字（子供が習った時に、先生が書いたお手本）を見ながら練習出来る喜びを感じています。
- ・きめこまかな広報をすみからすみまで目を通しいろいろな人と話をきいたりして学習活動をしたいと思えます
- ・余暇や趣味にしても生活の安定があつての事なので政治経済が良くなると地域も活性化しないと思う早く元気な社会になる様に願う。
- ・（施設に付いて）高齢者が多くなりつつある現状、健康維持又は増進のために学習をする人が多くなりつつ有る。今までは平日にコミュニティセンターは女性中心であつたが現状は施設が少なく使用者も多くなり日時取りが難しい現状である。今後の生涯学習推進には会場の確保が第一であると思う。
- ・子どもが色々学べる場所を使ってほしい。横須賀美術館はいらないと思う。そんな物を作るならもっと子供の為にお金を使ってほしい。
- ・スポーツを通して友人をつくりたい
- ・イベント（カウントダウン等）が充実していて参加者も観覧者も至極満足だと思います。
- ・1. 費用負担のない活動を企画されたい 2. 楽しみの1つとしての取り組み、しばらくない事、自由参加形式も良い（はば広く） 3. 地域図書館設立への支援（場所など）不要建物の有効活用を進める
- ・まだ働いているので仕事のことでいっぱいです
- ・アンケートの中には必要な施設・学びたい講座など、多くの希望が寄せられると思いますが、いざ実施となると参加者が少ないのが実情ではないかと思えます。企画する方が一番苦労するのではないのでしょうか。ご苦労様です。よろしくお願ひします。
- ・高齢になり足腰が弱っても精神は元気です。仲間と活動を続けたくてもコミュニティセンターが遠かったり、高台だったりして行く事が出来なくなることは残念です。近場の町内会館や学校の空教室を利用出来るように整備したらいかがでしょうか。近隣の方達と歌って踊ってしゃべって死ぬまで元気に過ごしたいです。その場所を近くに欲しいと思ひます。
- ・語学のサークルに入っています。中には優秀な方が沢山おられます。その中には年金生活になられた方も沢山おられ、実力を只勉強のみに活動されているのはもったいないと思ひます。国や市の観光案内にボランティアとして能力を生かしてはどうでしょうか。ヨーロッパに行くと小さな町にも必ずインフォメーションがあり親切に町を案内しております。英語に限らず今は色々な国の語学が学ばれていて出来る方（ネイティブの方には至りませんが）人材は豊富だと思います。横須賀・神奈川そして日本の観光立国としてのお手伝いがボランティアとして活動することで生きがいになると思ひます
- ・講習会などの学習に関する活動が行われていても、知らずに過ぎてしまうことが多いと思う。開催する場に日時を提示するだけでは、その場に行った人しか知り得ないので、今回のこのアンケートのように自宅のポストに投かんされているなどすれば、パンフレットなどにも目を通すのではないか。
- ・生涯学習をした事がないので仕事をしてアルバイトですが（警備員）色々知りたいけれど時間が不自由です。趣味としてはカラオケですのでだめと思ひます
- ・私は横須賀に引っ越してきて、約1年になります、いまだに横須賀になじみません。まず1歳になる娘を育てていて、だんなが仕事で約1ヶ月帰ってこない時もあり、1人では育児、頼れる人もいないので育児ノイローゼになりました。今は、育児ノイローゼも完治しましたが、たまに感情のコントロールができないで、娘に手をあげてしまうこともあります。なので、私みたいな人が他にもいると思うので、もっとママさんたちの交流ができるイベントなどを増やして欲しいです。前に行政センターなどでそういうイベントがあると聞きましたが詳しいこと（日時）などの情報がまったくわからないので今回のアンケートのように教えてもらいたいです。よろしくお願ひします。

- ・中央図書館の下町移転を望みます。出来なければマイクロ送迎バス（文化会館も経由する）の実施
- ・学びたいことがあっても、今は子育て中で自分の時間など少しもない。習い事も出来ない。目の届く範囲に子どもがいて、なおかつ学べる、そんな施設、設備があると嬉しい
- ・外国人が多く住む街の特色をいかし、小さい頃から、英語での会話の機会が得られるようなサークルや場所を提供して欲しい。（例えば、外国人教師による幼稚園のようなクラブ、子供が日本語を覚えていくのと同じように自然と英語も身につけて行くような環境が作れば、横須賀に住みたいと思う、若い世代も増えると思う（市内在住者は格安で1回500円位）
- ・市による生涯学習の支援の対象者はどのようなのかを明確にして推進することが必要と思う。バラまきの事業は避けるべき。
- ・使用する場所とりが大変
- ・具体的に市がどのような活動をしているかを知らない・分からない人が多いと思う。又、ジャンルに片寄りがあると思う。ホームページに各施設ごとではなく、一覧とした方が見やすいと思うし、年配の方、親子を重視するのは良いと思うが、若い人向けやライトな物を取り入れることで市がこういった取り組みもしているということを知ってもらえ、参加も増えるのではないだろうか。
- ・横須賀市は、学校などによって学習の進め方、学び方が差がありすぎる気がする。市民に対して、関心がうすすぎる。
- ・昨年のいつであったか忘れてましたが、「三浦一族の歴史」なる講座を「さいか屋の一室で聴講した事をおぼえており、今年もこの三浦一族の歴史を生涯学習のテーマとしてとりこんでいきたいと考えています。公報での通知を待っています。
- ・出前トークの形を多数計画して欲しい。身近な場所での生涯学習が、長続きする気がする。
- ・現在、健康維持の為にスポーツ（主にテニス）をして居ますが、施設（コート）に行くのに自動車を利用しております。高齢者（年金生活）にとっては、駐車代金が負担になり、継続するのが困難になっております。（コート代金（クラブ費月5,500円）駐車代金（1ヶ月）12,000円）高齢者が施設を利用する場合、駐車場の料金を無料（平日のみ）としていただければ、非常に助かります。よろしく願いいたします。
- ・地域に関する事はJ-COMにやってもらいたい
- ・世界の平和が目標となる今、日常の小さな面での愛の心平和の願いが大切と思われまふ。人々が感謝の心を持てば世の中はおだやかに明るくなるでしょう。色々な勉強や技術等大事なことはもちろんですが、色々な事の土台となる精神面を考えた教育は非常に重要と思ひます。正しい宗教への道を考える事を私はおすすめします。「汝の若き日に汝の造り主を覚えよ」感動する言葉です。
- ・問13で、利用するかしないかを選べないのは不親切。まだわからないを加えるべきではないでしょうか。
- ・生涯学習インストラクターの通信教育を受講し、資格を取りましたが、ボランティアとして活用する場がなく（取得者は市の教育委員会に連絡、報告はすると学校では言っていたが）残念です。
- ・図書館をもっと駅の近くに作ってほしいです。子供だけでも安全に安心して行かせられるように、お年寄りでも道に迷わずおっくうにならないように。大金がなくても年をとっても学習が平等にできるように。そして高齢者にマナーを守れない人が多く感じるのて、若い人のお手本になりません。そういう人が少しでもマナーを守ろうという気持ちになるような、何かPRをしてほしいです。様々な学習の場で無料の講習などへマナーの悪い方ばかり集まるのでは若い方は行きにくいでしょう。
- ・子供が自由に安心して遊べる場所があるといいですね。
- ・まちづくり、地域づくりに関わることですが、横須賀のマスコット、すかりんをもっといかしていただきたいと思ひます、ダイエーでみたハロウィンの時のすかりんのポスターがかわいかったのもっとポスターやたとえばぬいぐるみなどをいかしていったらどうかと思ひます。横須賀のお土産店（中央）で、すかりんのシャープペンとボールペンをみつけたのですが、他にもグッズをだしてほしいです。で、グッズができたなら広報とかでアピールしてほしいです。あと横須賀と縁のあるTHE ALFEEをもう一度横須賀芸術劇場によんで下さい。昨年からなぜかきてくれなくなったのです。是非力をかして下さい。
- ・病気療養中と言へば、聞こえはいいかも知れませんが、宇も満足にかけず、話をすればどもってしまうし汐見台老人会の会計をやっています。
- ・生涯学習推進や社会教育について、ではないですが、歩きタバコの禁止をもっと規制をしてもらいたいです。タバコを持って歩く手がちょうど子どもの目の高さと同じなので危険に思ひます。私自身、タバコの匂いが大嫌いで、タバコを吸いながら歩く人を見ると、とても不快に思ひます。私の他にも、歩きタバコのマナーや匂いを不愉快だと感じている人がいると思うので、何か条例や規制をしてもらいたいです。お願いします。
- ・生涯学習などは自分でやるもので市などにとやかくいわれたくない。すきにさせてくれ税金のむだづかいだと思ひう。
- ・私の周りでも「学ぶ」ことに積極的な人と消極的な人に完全に二分していると思ひます。消極的な人

- は子供の頃に学校の成績があまりよくなかったこと等、何がしかのコンプレックス（心の傷）があるようです。その傷をいやし、前向きな気持ちで、自分の成長に取り組んで、またそれを人々の笑顔に繋げることができたら、どんなに素晴らしいことかと思えます。「いい人生」だと思える一生にするためには、周囲の人々をハッピーにすることが不可欠だと思えます。お金は一つの要素ではあるにしても、たくさん無ければならない訳ではないでしょう。こういうことについても教養を深め、理解し、生活にいかすことも取り上げる必要があると思えます。生涯学習課の皆さんを応援しています。
- ・一度社会人として働き、その後、大学に編入学しました。国民保険・税金などで大学費用以外にかかるお金が多く厳しい状況です。これらの免除等あれば助かります。
 - ・もし、学校の給食費の未払があるなら、こども手当の活用を考えてもらいたいと思えます。
 - ・日中に行われる講座が多く、仕事をしていたらなかなか参加できない。夜間の講座や、休日の講座を増やしてほしいです。市民にとって本当に必要な施設かどうかを確かめながら施設を使ってほしい。また必要な施設をなくすことのないよう市民とよく対話してほしい。（児童図書館など）。お年寄り向けの講座ばかりでなく、若い人向けの魅力ある講座を今後期待しています。
 - ・私は都内に勤めていますので、平日の講座などは参加できません。横須賀の20代～50代の方は都内に勤めている方もたくさんいるかと思えます。休日であってもよほど魅力のある講座でないとは参加したいと思いません。広報を見ても、地元の暇な方対象の講座が多かったり、参加人数が限られていて、なかなか当たらず、期待していないというのが現状です。土日は市内在住、都心勤務の方限定ですとか優先していただくと不公平感がうすらぐのですが、同じ税金を払っているのに。どうか少しでも良い方に変わっていただけたら嬉しいです。
 - ・ご苦労様です。
 - ・私は生れてから幼少時は山・海で遊び、小・中・高校で学び、遊び、サラリーマン36年間を歩み、その後5年間は母の介護をして今に至っています。この経験の中で、現在の教育で学校の授業や社会業務の中での教育以外にやっていく必要性を感じている一部を記します。1. ルールやマナーを守ってお互いが気持ち良くくらせる社会への教育（小中学生を対象に信号、一時停止、一方通行、左側通行を教える。大人を対象に同上）②ゴミ捨てルール（特に高齢者の分別方法と種類の認知）③ルール・マナーを破った時に処分方法の検討（罪がなければ「大阪のやったもの勝ち」になり、より低下する。2. 親が子を、子が親を、先輩が後輩を敬う教育 3. 趣味を推奨する教育 4. 社会のしくみを教える 他にもありますが、これらの事を実施していくうえで「目学問」「耳学問」「体学問」がありますが、前2項は今もやられている事が多いのですが、一番大事なものは「体学問」だと思っています。幼少時からやる事が大事です。
 - ・生涯学習や社会教育はとても大事だと思えます。その一方世の中、日本人としてのモラルの低下が見られます。生涯学習や社会教育以前に常識を学ばせるべきではないでしょうか？生涯学習推進、社会教育というならば、まず差別をなくし、入り口を広げてください。現実には差別がありすぎです。
 - ・横浜市よりこちらへ参りましたが、スクール（低価格でのスクール）等が少ないと思えます。以前はテニスやフラダンス、英会話、書道等々習っていました。こちらでも是非やりたいです。よろしくお願ひします。（土日、及び平日の夜も開設してほしいです。）
 - ・なかなか若い人や中年の方は自分自身のことが忙しくこういう施設や教育に関することはこの世の中ムリだと思えます。駅と会社の行き来だけで終わってしまう時間しかないのです。又市内のどこにどのような施設があるのか本当にわかりません。
 - ・生涯学習、社会教育なんてキレイ事は誰も考えていないし興味もないと思えます。今、現在の状況を見れば、子供でも高齢者でも分かります。自分達の生活もギリギリ、もしくは、住まい探し、ご飯探し、職探しの毎日が何十万人以上もいるのに、こんなアンケートは意味がない。市町村、都道府県、日本全体で、一人でも泣いたり、悩んだり、困ったり、死を考えたりしているうちは何も変わらない。エコだの省エネも経済不振の原因でしょう。政治家も馬鹿しかいない。もっともっと国民が笑って暮らせる日本や時代を作らないと学習、教育なんて誰にも知られない。私一人がこんな事を話しても何も変わらないが、ストや暴動をおこせない日本人は負け犬だらけだ。
 - ・（まなびかん）について 汐入の保健所に行った時、あることを知りました。趣味の会はいろいろある様ですが、ここで何か講演などもあるのか、何を見れば知ることができるのか、コミセン等にパンフが貼ってあればよくわかると思えますけど。（中央図書館について）読書が好きでいつも利用します。ほとんどは、コミセンで借りますが、やはり図書館に行きたいのです。でもあの坂道を思うと行きたくありません。何十年も住んでいるのに今まで10回も行っていないです。平成町とかもっと平らな土地に是非図書館を作ってほしいと思えます。（史跡めぐりについて）寺社、史跡めぐりなどボランティアの案内で参加しますが、毎年同じ所、それでも良いのですが、行った先でその土地に出来る直産、市場など案内してもらえたらみな喜んで買うと思えます。リュックを満たして帰れるのですから。何ととっても花より団子です。（イベント等）歯科大、ベース、美術館など講師になる人も講演もやっているようでしょうけど、なかなか伝わってきません。市の広報にも出ると思えますが、文字が小さく見逃します。

- ・生涯学習の推進が何故必要なのか。それに合わせた対策があると思います。(本当に行政で推進させなければいけない理由) 高齢化により、健康、体力、気力、能力、趣味、社交性その他多岐の対象に、全て教育が必要とは考えにくい。無償の学校(義務教育のような)で、誰もが行く必要があるとも思えないことから、カルチャースクールや私学で行うような公開講座があるものに、行政が加わって、同じ土俵で講座を税金で行う必要や意義があるのか疑問である。公立学校で、校舎、教育を使って講座を(有料・無料)で行うのは良いかもしれないが、学習相談等は第3セクターや民間団体等に任せても良いのではないのでしょうか。小中高の図書室の借出が全学校可能でしたらアナウンス不足と思います。
- ・立派な美術館は素晴らしいと思う。でもお金がかかったし、これからもかかる。人はあまり入っていない。それより地域にある行政センターは古い。二階、三階で講座など催しがあるが、エレベーターはない。体の不自由な人は学ぶことができない。誰もが学べる場所をバリアフリーにしてほしい。浦賀地区は老人が多い(他地区も同じか)。講習に参加したいが、階段は登れない。浦賀行政センターはいつバリアフリーになるのか、それが先決。
- ・私の祖母は九州久里目の井上ヲサメと申し、廃藩置県で明治11年生まれにも関わらず久里目から福島へ移動したと聞いています。食べるものもなく、母乳もなく、移動したのを考えると大変な苦労だったと思います。そのためか字は書けず、読めず、学校にも行っていません。こんな祖母の自分史を書いてあげたいと思います。私の祖父は諏訪神社の脇で芝居の芸者の置屋をやっていたとのこと、写真も何も残っていません。小泉又次郎と仲が良く、又さん、寅さんの仲だと聞いています。同じころ、龍馬のおりょうが米が浜の海岸で夕方よく出ていたと聞きます。何か私の祖父母との知り合いの範ちゅうではないかと思い、一貫性のあるストーリーにしたいと思っています。
- ・現在65歳で仕事もリタイアし、生涯の趣味を今後の人生に生かす為学びたいと思っています。どのような内容のカリキュラムがあるか知りたいし、見学会などあれば、参加したいと思っています。
- ・いろいろな施設で、いろいろな学習、科目を設定していて、市はがんばっていると思う。しかし参加する人は限られていて、興味を持つ人が集まっているだけで、何かしっくりこない。もっと市民が一体何を一番に望んでいるのかの基本アンケートが必要と思う。生活に必要なアンケートもなく、子供達が本当はどんな事を望んでいるのかもわかっていない。そんなアンケートの結果が知りたい。生涯学習は経済的に裏付けのある人達の為のものだけの様な気がする。
- ・生涯学習や社会教育などの広報の更なる充実を
- ・図書館(久里浜)足の悪い家内と行きたくとも駐車場がなく止められない(混んでいる)もっと高齢者に行きやすい様にしてほしい
- ・市全体が、しずみがちである。もっと活力のあるエネルギーあふれる地域になるような施策を考えてほしい。他市からの参加者も集まるようなイベントも考えてほしい。
- ・まだ仕事を持つ身なので、学習することは時間的にも制約があり、また内容も自分の趣味興味のあることに片寄っています。もう少し時間がとれるようになったら地域にも世界にも広く目を向けた学習をするようにしたいと思っています。そのときに場所や機会を提供していただけたらうれしいなと思っています。今のところどうしても勤務地(横浜)の施設・講座を利用してしまおうのですが、いずれ「横須賀」を中心に豊かに生きていきたいと思っています。
- ・地域や時間帯も幅広く実施されれば、幅広い年齢の人々が参加でき、世代を超えたコミュニケーションの場とすることが出来ると思います。
- ・私達のためにアンケートをありがとうございます。(声を聞いてくれて)
- ・私達のふれあい会のグループ(36名)も平均年齢75歳に達した。軽い認知症も2~3名いるらしい。認知症予防の為の講座などあったら良いなあと思っている。出向してくれたら最良だが。
- ・生涯学習とか社会教育とかあまり気にしたことがなかったが、これから少し気にしてみたいですね。
- ・市民になってから、まだ日が浅い為、よくわからない。でも地域の皆様とコミュニケーションはしていきたいと思うし、こちらからきっかけを作ることもできない。みこしや祭りなど何かお誘いがあるとよいかも。平日の10時~17時の講座では出たくても出られない。・保育つきの女性講座を運営していたことがあるが(15年前くらい)、託児と託老が引き受けられるともっとよいとボランティアで託児して下さった方からの思いをいただいた。→家庭内での育児や介護に風穴が開くと良いと思う。
- ・お金が多少ある人には、頑張ってもお金のない人の気持ちはわからないよ。名前出してもいいし、仕事もないし、職安なんてあてにならないし、出してる店うそばかりだし
- ・横須賀市総合体育会館の隣にある広場(現在野球場として一定の人達にしか利用できない場所)は、従来、一般の人達に開放されていて、正月などには子供達のたこあげなどに絶好の場所でした。どのような経緯があったのか、ある日、塀がめぐらされ、入ることができなくなり、特定の団体の野球場と化しました。正月の凧揚げは、日本の古来文化のひとつであると思います。子どもたちが正月に凧上げをする光景をこの横須賀の地で久しく見る事ができなくなってしまったことがとても寂しく思えてなりません。せめて、正月の休暇の間だけでも、子ども達にあの広場を開放してあげることができないのでしょうか。切なる思いで申し上げます(市内在住70才男)

- ・時間はたっぷり有る主婦なので、市の施設が主催する行事や学ぶ講座に、参加したいのですが、市の中心地に家がないので、交通費がかさみます。1ヶ月に2～3回の参加では、京急の高齢向けの定期を買う程ではありません。バスに乗る時だけの特典がありましたらもっといろいろ参加して勉強したいと思います。(是非、実現して下さい。(67歳))
- ・沢山の人が興味ある生涯学習に参加できるよう支援してほしい。横須賀市は博物館や美術館、コンサートホールなど芸術に力を入れているように思います。今後も音楽や美術、工芸など芸術に触れる機会や支援を市に行っていただきたい。
- ・市長さんも代わり、若い世代がもっともっとハツラツとした社会生活を送って行かれるよう、教委の方々のご努力を期待いたします。勿論生涯学習という観点から我々の年代以上の方々にも今以上の機会が与えられることを望んでいます。
- ・中央図書館を利用させていただいている高齢者です。図書館の一般の本、マンション等の判例集がいつまでも古い本が置かれており、特に一般の本を受付を利用して35人目というケースがあります。高台の設置もきつく感じるようになりました。早く低地に移設して欲しいです。
- ・現段階では心の余裕がないし、生活の余裕が見えないので、その頭にまで到達していない。まずは定年になるまで、子供が成人し、一人立ちするまでは無理だと思う。労働要件が改善する様に行政が動き、それに連動して、生涯学習への動きと流れを考えて取り組みをお願いしたい。
- ・75歳以上になりましたので望むことより、もっと若年層の意見を採用された方法がよいと思う。(70歳以上をはずす方法)・政治がよくなると生涯学習も推進出来ないと思う。・日本の政治の安定を望みます。
- ・学習する側の意見を集める事は非常に良い取り組みだと思います。今後は広報など、じっくり読んで、その成果を見守っていきます。
- ・何度も書きましたが、結論、参加しにくい。①いつものメンバーが他人を排除②時間が参加しにくい。狙いは誰？この設定が大切。何に参加したいのではなく、まず自分の参加できる時間を選び、それから自分の参加可能を考える。まずは時間・
- ・46歳です。同じくらいの人と交流できるような場がほしいです。参加すると60、70才くらいの人とかで。中年の場がほしいです。
- ・高齢者なので、他人に迷惑をかけないようにして暮りたいです。
- ・もっと興味のあるものを作ってほしい。例えばそめもの
- ・大津行政センターについて、作品展などの催しを小ホールまたは会議室で出来る様にしてほしい
- ・横須賀美術館は交通が不便で困っている。車で出かける人向けのようです。もともと建設には反対でした。・中央図書館入口の階段が破損したままになっていて、いつもみじめな気持ちになる。2～3年前にどこかに建て替えと何かで読んだがどうなってしまったか？・はまゆう、婦人、文化、万代それぞれの会館どういう目的のどんな使用のされ方をしているか不勉強でわかりません。広報横須賀等に定期的に紹介記事や写真をのせていただければと思う。
- ・横須賀はとても住みよい町と思っていますが、今ある事をもう少し細かくわけてもらえるとうれしいです。
- ・(図書館について)生涯学習センター、逸見行政センターの図書館を主に利用しています。非常に便利で有意義です。しかし、各々に利用者が居ると思いますが、逸見行政センターは廃止すべきだと思います。理由は隣接する部屋の集会が騒がしく、その機能を果たしておらず、また司書さんも注意もしません。(そもそも高齢者のマナーが悪いのですが)と特定の図書館を名指ししてしまいましたが、生涯学習することのベースとなる図書館の利用状況のコンサルティング実施や司書さんのレベルアップを望みます。(例えば1年契約して各年更新するなど。民間の本屋と較べたとき、そのサービスレベルはどうでしょう。よろしく願いいたします。
- ・市が行っている様々な講座やイベントは、広報よこすかを見て、情報を得ています。たまに行ってみたいと思うものもありますが、たいいてい、平日の昼間に行われているので、平日夜遅くまで働いている私のような人は対象ではないのだと思っています。しかし、市には夜間や土日に講座を開いてほしいとは思っていません。なぜなら、フルタイム働いている人は、職場を通して学ぶ機会があるでしょうし、収入があるので、民間のカルチャーセンターでお金を払って夜間や休日に学べばいいと思うからです。市には、経済的に厳しい家庭が親子で楽しめる講座を開いたり、そのような家庭の子が学ぶ機会をなくさないようにしてほしいです。また、お年寄りも同様で、現役を引退した方々が引きこもらず、いつまでも心も身体も元気ですごせるようより積極的によびかけたり、支援したりしてほしいです。
- ・鴨川カントリークラブへの様な横須賀市市民スペシャル特典・補助の充実をもっと他のゴルフクラブへも行ってほしいです。
- ・年齢的には生涯学習と言う意識より、家族や友人と楽しい時間を過ごすことの方が重要視されています。行政に頼らなくても、有意義な時間は作れそうな気がします。しかし男性の方が定年後の生活はコミュニケーションが減少すると思うので、男性を中心に考えた内容の講座などいいと思います。そ

- れには老いても元気な体が必要です。その辺もケアしてほしいところです。仕事・家事・趣味・休養・このバランスに注意して、身心ともに健康が第一、後は家族のことでまだ忙しい身です。
- ・運動を身近な施設でいつでも好きな時にできるようにしてほしいです。一般のスポーツジムなどは料金がなくてなかなか続けられないので、残念です。色々なヨガやピラティスなど、気軽に参加できる教室を作っていただけたら、すごくうれしいです。
 - ・意欲はいろいろありますが、年齢的、体力的、家の事情など個人的な理由で、多くの活動ができなくて残念に思います。市内の範囲ならまだ動けそうですので、市民大学講座の充実など（自己負担で受講料の一部を納める事は賛成です）希望致します。地域の防犯パトロール、登校時の見守り隊、小学校（孫がお世話になっている）の図書ボランティアなどには参加しております。
 - ・情報もう少し、速く、的確に簡単に入手出来れば良いと思う。方法や機会をふやして欲しい。申し込み方法の種類が増えればとも思う。
 - ・アンケートし、選ばれた人の意向を問うのも良いが、行政として今後どう考えているのかの姿勢がない。自分達の仕事は市民が右へといえ右、左へといえ左では、給料を貰っている意味がない。少なくとも基本はこの方向、方策を考えている。それに対してはどうかと問う姿勢がほしい。・アンケートの結果は統計的な処理とのことだが、この結果の纏めによって、この方向、この方策を取り決めたとか、結果は本年何月の広報に示すので是非見てくれといった形にして欲しい。調査の為の調査で終わりとしなくて欲しい。・設問と答えの選択肢が充分練られていない気がする。・住民の意向を問うのだから、紙によるものだけでなく、少人数のグループを集め、討論形式で意見を吸い上げる試みもあってよいのでは（既にやっているのかもしれないが）・個人としては、小・中学校の一部の施設の利用可能というのは知らなかったが、一般的にPR不足ではないのか。
 - ・新たに事業を行うのに常に箱物行政をしているが、既存の施設を利用して行う方が経済的、効率的である。観音崎に建設した美術館などはその典型ではないだろうか。美術・文化等の名目に隠れて、本当の伝統文化を忘れていないだろうか。諸外国ではその地域や国の伝統的な建物をしっかりと活用しています。新しく建物を作ったり組織を作ることだけが教育ではないし、文化ではないと思う。
 - ・せっかく米軍基地があるのに、地域との交流が少ないと思う。米軍の家族など地域ぐるみで交流してみてもいいのではないかと思う。BBQとか、週末ホームステイなど。外国に行かなくても外国の方と交流できることは横須賀だからできると思います。横須賀が今以上にすてきな街になるといいなあと思いつつ・・・・応援しています。
 - ・講座の申し込み条件に通して参加出来ること以前ありました。日程が合わなくて参加に二の足を踏んでしまいます。よい方法はないでしょうか。
 - ・退職後、何か始めようと思いましたが方法が分かりません。そういう人は多いと思います。見逃しているのかもしれませんが、広報紙などでアドバイスしてもらえればと思います。
 - ・支出と効果（有効性）を検討のうえ、実行してほしい。実行したことは、結果を検証し有効性を確認のうえ、継続と改善をお願いします。
 - ・私は自宅が小学校の前にあります。小学校の教師や生徒、保護者の方々を目にする事は日常的です。若い母親を手助けできる何かがあるはずと思いますが、どのように接すればよいか又、相手は受け入れられるか等心配です。基本的に私は見知らぬ母子に出会う時、まずここはママは頑張ってるね、子どもはいつまでも子どもでないから、今の子どもを楽しんでね。と声をかけてしまっています。
 - ・現在の仕事が生活のほとんどをしめており生涯学習、社会教育をうける時間の余裕がありません。アンケートのターゲットを学習教育を受けることが可能な人にしぼったらどうでしょう。いろいろな施設を利用したことがあるのは、子育て期、働いていない時であり、今後利用したいのは、定年後時間のよかができてからで、かなり先のことになります
 - ・本アンケートにおいては個人の特定が可能になるかもしれないことを書きますが、特定していただいたり連絡していただいても何ら異存はありません。意見：私が知る限りにおいて市の生涯学習や社会教育は「知識を欲する者」に対する一方的に「情報〇〇の提供」に偏っている気がする。私の関わっている郷土史関連ではそのことを実感している。教育は連鎖拡大につながるものが最善と思うが、「教えっぱなし」「学びっぱなし」になっていないだろうか。一方的な教育も連鎖拡大のきっかけにはなりうるだろうが、高齢者の多い郷土史関係では残念ながら連鎖はおきていない。市が市民の予算を使って「一部」市民の教育をするのなら、それが「多教」市民の利益にもつながるようなくみにすべきと思う。郷土史関連での方策を例示します。・「よこすか歴史検定」の設定、「よこすかボランティアガイド」資格制度、高齢者から若者への伝承支援、学校教育への直接参加（郷土史教育）、特定テーマの交流会、大工OBの工作指導、農家OBの園芸指導
 - ・現在の姉妹都市の留学生交換制度は高校生に限定されているが、社会人同士でも長期連休の際に利用できてよいのではないのでしょうか。
 - ・私達の街もご多分にもれず高齢化しています。しかし、いくら年をとっても最後まで自分達の手と足でしっかり生き抜いて行きたいと常に願っています。が、悲しいかな足腰の衰えは如何ともしがたいのです。でも、まだ元気で気力のある間に少しでも足腰の筋肉をきたえられる場を身近な町の公園な

どで簡単に楽しく続けられるような「運動の場」を作って欲しいのです。近くなら、誘いあって集まれるし、楽しさを味わえば自然に続けられるでしょうし、いつしか自分達だけで続けて行かれたら最高にうれしいですね。そういうきっかけづくりをして下さる指導者をどんどん養成していただきたいのです。

- ・市教委の市民大学は折々受講しており感謝している。後期高齢者であるので、あらたな分野へ挑戦は中々難しく、自然と既定路線を進んでいるのが実情ではがゆく思っている。そこで提案ですが、図書館の更なる充実です。図書館で自分の好きな分野の図書をじっくり読むことは研鑽の嬉しさと楽しさが味わえる。その中から、新たな分野への興味が生まれるかと思ったりしている。
- ・今は仕事も余りないので困っています。社員で行ける所があるといいと思います。関係ないことを書いて申し訳ございません。これからもよい仕事があるといいと思います。
- ・横須賀市は米軍基地があるので外人と関わる割合が他の町よりも多いと思うので、無料で、市民会館等で優しく学べる英会話をやってほしいです。
- ・生涯学習の講座や社会教育について広報をもっとしてほしい
- ・個人的なサークル活動、コミセンや青少年の家などで無料で使用できる。卓球サークルに参加していますが、毎回同じ施設が使用できず、家の近くにあっても交通機関を利用して、1時間もかかる施設しか、取れなかったりして不便さを感じています。月に何回と決め、平等にどのサークルも利用者の近くの施設でできる様にならないか検討してほしいです。行政センター内にある図書館の本、新刊をもう少し増やして欲しいです。
- ・仕事をしていると、平日の生涯学習には参加したい講座があってもなかなか参加できない。土日があると参加しやすいのでは。
- ・公園や公共施設等の美化運動や自然を大切に作るボランティア活動など、定年退職したらやりたいような気持です。昼ごはん(300~500円)を提供していただき、10時~3時頃まで、天気の良い日など気楽に参加してみたいですね。計画を立てる人達が負担とならない事はないですか。とにかくこの地球はみんなで借りているようなものですので、大事に使いたいと思います。平和で穏やかに健やかに過ごしていきたいと心より思います。
- ・75歳以上1人暮らしの人に週2日位副食費(おかず)無料で作ってもらえたらありがたい。夕食だけ。
- ・すべての人間の基本は教育にある。ダメな親に育てられている子どもでも学校や周りの大人に正しい教育を教えられていた昔と違い、今は誰も知らん顔。その結果、若い人は働かなくて税金を払わず、私達の年金も少なくなり、犯罪(振り込め詐欺、ひったくり、空き巣、殺人)も増え、身近に恐怖が近づいています。学校は勉強だけを教える所だと言うけれど、一日の大半をそこで過ごしている訳だから、勉強以外でも学ぶ物が大きい。今、フジテレビ「エチカの鏡」で横峰さんが経営している幼稚園が世界中から注目を浴びていますが子どもの本当の姿を今の教育者はもっと勉強すべきだ。小さいうちから自立心を養い、人の役に立つ人間に育てていくことがそのまま立派な社会人に育てていくことに繋がる。年をとってからでなく、もっと若いうちに好きな事を学べるシステムを作ってほしい。もっともっと教育に税金を投入してよい。すごく期待していますので頑張ってください。
- ・数回市民講座を受講しましたが、講師の先生方の一方的内容である。ある程度理解できますが、理解できぬ場合は質問形式の方法が良いと思う。
- ・小さな子どものいる母親同士が気軽に会える場所があるといいです。「わいわい広場」というのはたまに行って、良いと思います。小さな子どものいる母親でも楽しめる趣味の場があるとうれしいです。ヨガ、体操など。市の方でそんなイベント(講座)を安く作ってもらえると外に出てママ友作りができるかも。子どもがいて忙しい母親でも趣味としてこれからもいろいろと学んで生かしていきたいです。
- ・生涯学習に税金を投入するのは、全ての事柄が終わってのことではないでしょうか。教育委員会が行うのは、まず、市内の子どもたちへの教育が先と考えます。その上で行うのは結構ですが。地域の学校の現状はひどいものです。保護者の話は聞かず、生徒を蔑ろにする先生が多数いることを教育委員会はご存知でしょうか。全ての責任を学校への思いもありませんが。親は普通の教育を求めています。その普通ができない先生がいるのが現状です。子どもが人質になっているので何も言えません。以下省略(当該意見については、写しを教職員課へ参考に送付済)
- ・今の時代の年配者(高齢者)は元気であり、ボランティア、サークル、社会貢献、支援する・しようとする意欲のある方が多いと思う。それに対し、中年、子育て世代、介護者世代は疲れ果て、若者もうつ病ややる気の気力を失い、前向きに考えられることが少ないと思う。よってボランティアを始め生涯学習・社会教育に関しては、関心がないのではと思います。気持ち的に余裕もてる生活でない、学習活動をしようという意欲がわかないと思います。学習して理解する、見る、手を動かす、感じとるのは、いくつになっても楽しいことだということはわかっています。市民の多くが前向きに楽しい気持ちに学ぶことができる、しようとする動きになるよう、生活の豊かさ、すさんだ心をもつ人が少なくなることを願います。
- ・生涯学習に興味はありますが一人では中々入りづらい様な気がします。もうひと押ししてくれると仲

- 間に入りたいと思いますが。一人でも参加しやすい場所があれば行ってみたいです。
- ・20年前に不登校で悩んでいる時に色々と講習会に出席して息子より、先に親として、悩みをかかえる事になった時に出席を数回しました。一人一人の悩みと自分の息子とは少しかけはなれていますが、こういう子もいる事に、私、そしてわが息子だけでないという、心のなかで、少し安堵しました。でも参加してとても私として母として強くなれました。市内であった登校拒否の問題をかかげた会には積極的に参加しました。それから現在、その子は立派に家業をついでくれています。今年になり、その子の弟に予期せぬ精神的な病を背負うことになりました。一生薬を飲まないで再発の可能性があります、いつも薬を飲んでいかなければなりません。これから、息子の病名にかかわった講演会があるときは都合をつけて、出席して学びたいと考えています。正直なところ、精神病はまだまだ、偏見とみっともない、いやな世間の見方のあることに私自身もとまどっています。でもやっぱり母親として、まっすぐに向かっていくこと、逃げてはいけない道なのです。そのためにも、もっともっと統合失調症という病名と病気を理解していかないと私が心に言い聞かせております。もし、今後、そのような講座がありましたらよこすか広報誌にのせてください。なお、発症年齢は中学生から20代後半まで一番多いそうです。年々早まっていると精神科の先生の言葉です
 - ・広報誌に情報はあると思うのですが、探す気(参加してみようという気)がないと見ない気がします。白黒で文字ばかりで読みにくいしなかなか内容も分らないし、興味がわきません。知る人ぞ知るという感じでしょうか。
 - ・企画などの情報をもっと広めてほしいです。せっかく学ぶ機会があってもしらなければ参加することもできません。
 - ・親子で体験できる生涯学習を数多く行っていただきたい。本アンケートは子どものいる世帯むけでなく、回答に困るものが多い。もう少し考えて設問すべき。
 - ・生涯学習は、民間のCMが流れてから、生涯学習＝自己の学習(自己のみで完結する学習)というイメージが強くなっている気がします。自ら学ぶことは人としてごく自然な生活の一部であると思いますが、行政がそれを「支援」する際は、学びを「個」の中でだけで完結させずに、線で繋ぎ、学んだ人達の力を地域に帰すということが重要だと思います。役所としては短期間で効果を求められる時代ですが、生涯学習をきっかけとした人材の発掘、人材の育成にはそれなりの時間が必要です。また、高齢者や子育て世代にとっては、自宅近くで参加できる場の充実は不可欠です。多くの市民が生涯学習を通じ、豊かで健康な生活を送ることにより地域が活性化するとすてきですね。財政厳しい折ですが、期待しています。
 - ・学習に参加するきっかけがつかれない。一歩が踏み出せません
 - ・行政センター教室をきれいに。こわれた物をすぐなおしてほしい。料理教室があっても全部つかえないことがある
 - ・私は70才をすぎました。あつという間になってしまいました。今は朝目がさめたら、ああ生きていたなあ等と思い、今日一日頑張ろうと思います。それも健康だからできる幸せです。高齢者は皆そう思って生きているのが日常です。そこで考えるのですが、例えば65才以上の人と書いてあっても(一人暮らしの人!)とあっても行ってみると立場の違う人たちが大勢きているから年寄り参加しにくくなります。誰でも参加がモットーになりますから仕方ないですが、友達も皆同じ意見です。それから民生委員の人たちも大変でしょうけれども、まだまだ現役の年寄りもいるということを考えていただきたい。
 - ・日米安保条約の中身が解らず、人を殺す事の好きな米国をなくし平和を願う者である。透明性のある税金で、全人類の生活が安定する様に横須賀の米軍基地は必要ないと思う。私達は罪のない人間を殺す手助けはやめるべきである。
 - ・そもそも行政における生涯学習推進・社会教育の目的は何ですか。市民をどのようにしたくて生涯学習を位置付けているのでしょうか。その辺りの目指しているものが私達に伝わってこない。市民一人一人のための生涯に役立つ学習を広く、推進したいのであるならば、もっと広く市民に根付いていなければ意味がないと思う。例えば、講座に人数制限があって、抽選で選ばれた者だけしか、受けられないのはおかしいと思います。人気の講座は希望者の人数にそって増やせばいいし、一般市民が今、何を学びたがっているのかを見極めて、講座の内容やそのやり方を考えなければ、いけないのではないのでしょうか。
 - ・障がい者への理解を高めるために、講義や講演の回数を増やし、広い世代に受講してもらいたい。目、耳、言葉の障がいの他に知的障がいやグレーゾーンの子どもへの支援方法なども知りたい。横須賀市には「はぐくみかん」があるが、市ではなく、第三者が運営するようでは中核市と呼べないと思う。専門の知識をもった人が増えて、子どもや障害児・者が生きやすい市をつくってほしい
 - ・広報よこすかやその他地元広報誌でも様々な講座や教室が開催されていることは知っていますが、未就学の子どもがいるため、参加できません。(子どもの体操教室などには参加しています。)預ける機関もありますが、金額等を考えるとなかなか利用できず。例えば、子連れでも可能なボランティアがあれば参加し、その代替として託児付の講座に参加できる等、お金以外の時間利用、労力利用を考え

ていただければと思います。

- ・私は70才をとくに過ぎました。学ぶ事、知る事が大切であるとの年になってつくづく思います。そこそこの事はしてきたつもりですが、今は乗り物にのってお稽古には行かれませんが。友達が絵手紙を書いてみたい。お茶のお手前が見たい。野草の名前や食べられるか、食べられないか知りたいねとかいろいろ同年配の友達と話しをします。住まいの近くで勉強出来れば楽しい老後ですけど。
- ・公共施設（コミュニティセンター、体育館など）抽選で使用できないことが多い。また、親子であそべる場と思って借りたいが、ホールが借りれず、会議室になったり。会議室では、〇〇はダメ会議をする部屋なので静かにといわれた。多目的室にしてもっと規則を緩和してほしい。子ども達が雨でもあそべる場をもっと開放してほしい。
- ・北海道より引っ越してまだ3年ですので、十分こちらのことがわかりません。アンケートの答えは不十分ですお許しください。
- ・子どもが学校に（特別支援学校）に通学しているので、参加したくても平日の午前中に開かれている講座が少なく、興味はあるのですが、時間が合いません。平日の午前中の講座の種類を増やしていただけたらうれしいのですが。
- ・学習したくても1人で行動したり、講座などに参加するには勇気がいるものです。1人でも参加しやすい環境や講座作りをお願い致します。
- ・期限内でなくて申し訳なし。不注意で提出を失念していました。
- ・横須賀図書館カードで、借りる事が出来るようになり、便利になりましたが、貸し出しの出来ない図書は市の図書館での閲覧。西部にもぜひ図書館が出来るように、お願い申し上げます。
- ・以前講習会やワークショップ等に興味があり、参加しよう・応募しようとしたが、開始時間が、18時〜とか18時30分〜と、当時都内で勤務していたので不可能だった。せめて、19時〜や19時30分〜とかもう少し時間帯に配慮があると参加しやすい。
- ・私は現在、追浜地区、浦賀地区でリズム体操をしておりますが、場所がなく、場所を取るのが大変です。中にはずるい事をして場所取りをしているチームもあります。現在使われていない廃校の教室などは使用できないのでしょうか。週二回の楽しみの体操が場所がなく困っています。なぜ、いつも同じ所を使う事ができないのですか。地域の使われていない所を利用する事ができない。少し行政も年配者が楽しく過ごすことを考えてください。
- ・マナーの基本が自然に出来る町に、特に戦後男女同権と言われる時代に育った世代のマナーを
- ・高齢化社会の傾向はまだまだ続き、今後ますます高齢の方々豊かに暮らしていける様な支援が必要となります。現在行われている生涯学習や社会教育および市民活動に加え、市主導の更なる広範囲の活動の場の提案、支援案の強化をお願いしたいと思います。
- ・気軽に料金も低額で昼もしくは夜と学びたい。横須賀市は学びの館が少なすぎる。例えば、私の場合パソコンがやりたいがほとんどない。横浜では各区で必ずコミュニティセンターである。むしろ聞きたい、なぜないのか？
- ・コミセンなどで行われている講座に何回か楽しく参加させていただきました。各コミセンの行き方、場所がわからず困った事があります。又西行政センター管内という場所があら交通の便が悪く、さらに出かけるぎりぎりまで家事をこなすので、車で出かけられたらと考えます。駐車場が少なければ、近隣の駐車場（できれば値段も）教えていただけたら、うれしく思います。仕事先、PTAの知人等にこんな講座に行っているんだよと言うと、知らない人がほとんどです。（市で行っている事も）情報を伝える形ももっといろいろあるとよいです。
- ・特定の人だけが役に立ったり、参加できるようなものではなく、誰でも参加できるような内容を考えるべきだ
- ・市内転居し以前より生涯学習のポスターを見かける。仲間作りは難しいが、積極的に参加したい。
- ・動物園、FM地域放送を作してほしい。

横須賀市教育アンケート報告書（社会教育編）

平成 22 年（2010 年）7 月発行

編集発行 横須賀市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課
〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地